

2024 年度 環境監視結果年報

2025 年 9 月

中部国際空港株式会社

はじめに

中部国際空港株式会社は、2016(平成 28)年 4 月、「中部国際空港に係る環境監視計画」を改定し、2016 年度よりこれに基づく環境監視を実施している。

本書は、この環境監視計画に定める調査項目である航空機騒音について、2024 年度（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）の調査結果を①環境基準値との比較、②推移の 2 つの観点から、それぞれ整理することにより、中部国際空港の供用が周辺地域に与える環境影響の程度を把握し、年報としてとりまとめたものである。

とりまとめにあたっては、中部国際空港株式会社が設置する公正・中立の立場の「中部国際空港の航空機騒音に関する検討委員会」において、科学的、客観的な検討・評価を受けた。

目 次

1. 気象の状況	1
2. 空港の運用状況	3
3. 環境監視結果及び評価	
航空機騒音	8
(1) 航空機騒音の評価指標	8
(2) 環境監視結果	10
ア 常時監視結果	12
イ 定期監視結果	19
(3) 航空機騒音の項目別比較検討	22
ア 環境基準値との比較	22
(ア) 常時監視結果	22
(イ) 定期監視結果	22
イ 推移	27
(ア) 常時監視結果	27
(イ) 定期監視結果	29
(4) 航空機騒音の評価	31

参考資料

1. 気象の状況

(1) 気象観測

名古屋地方気象台、中部航空地方気象台、アメダス南知多観測所の気象観測結果は表 1-1のとおりであり、中部航空地方気象台における風向出現頻度は図 1-1のとおりである。

2024 年度の中部航空地方気象台における最多風向は北西であり、全体の 17.2%を占めた。

表 1-1 名古屋、セントレア、南知多における気象観測結果

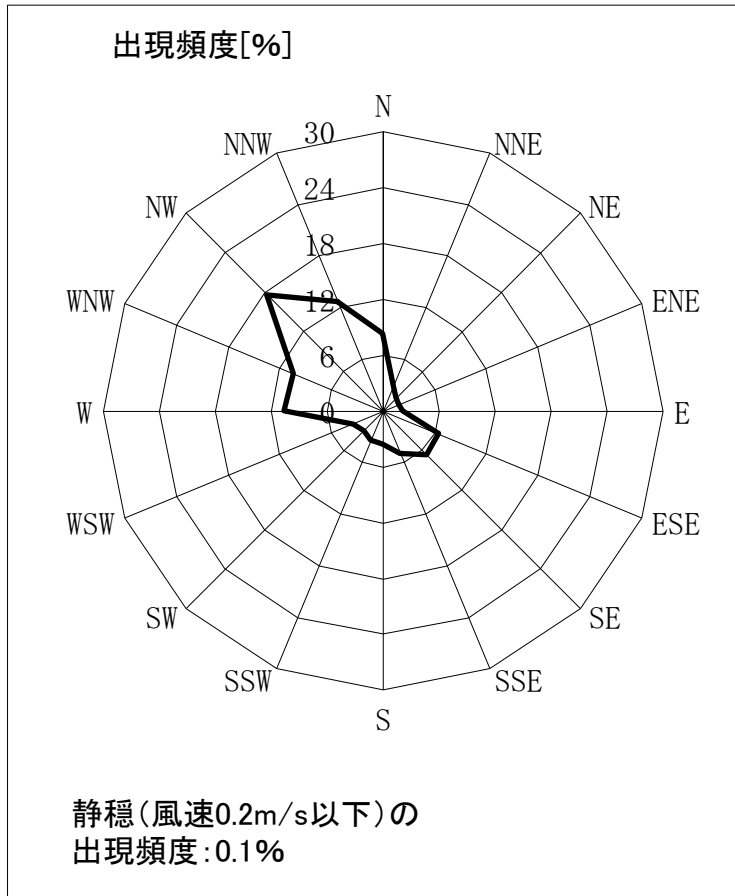
気象要素	地点	2024年										2025年			年間
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
平均風速 (m/s)	名古屋	3.0	3.6	2.8	2.7	3	2.5	2.5	2.8	2.9	3	3.4	3.4		
		(3.3)	(3.1)	(2.7)	(2.8)	(2.9)	(2.8)	(2.7)	(2.6)	(2.9)	(3.1)	(3.4)	(3.5)	(3.0)	
	セントレア	4.6	5.6	4.1	3.7	4.4	4.1	4.4	6.4	7.4	7.2	7.5	6.0		
		(5.6)	(5.1)	(4.4)	(4.3)	(4.5)	(5.0)	(5.3)	(5.8)	(6.9)	(7.0)	(6.8)	(6.3)	(5.6)	
	南知多	2.8	3.0	2.3	2.4	2.7	2.2	2.3	3.2	3.4	3.4	4.0	3.6		
		(2.9)	(2.6)	(2.2)	(2.0)	(2.2)	(2.3)	(2.4)	(2.5)	(3.0)	(3.2)	(3.4)	(3.3)	(2.7)	
最多風向 (16方位)	名古屋	NNW	NW	SSE	NNW	SSE	SSE	NNW	NNW	NNW	NNW	NW	NNW		
		(NNW)	(NNW)	(SSE)	(SSE)	(SSE)	(NNW)	(NNW)	(NNW)	(NNW)	(NNW)	(NNW)	(NNW)	(NNW)	
	セントレア	NW	NW	SE	NNW	ESE	SSE	NW	NW	W	W	NW	NW		
		(NW)	(NW)	(SE)	(SE)	(SE)	(NW)	(NW)	(NW)	(NW)	(NW)	(NW)	(NW)	(NW)	
	南知多	NW	NW	S	NW	S	S	NW	NW	NW	W	NW	NW		
		(NW)	(NW)	(ESE)	(S)	(ESE)	(NW)	(NW)	(NW)	(NW)	(NW)	(NW)	(NW)	(NW)	

- 注1：名古屋は名古屋地方気象台、セントレアは中部航空地方気象台、南知多はアメダス南知多観測所を示す。
 注2：平均風速及び最多風向の名古屋、南知多の欄の下段()内の数値は、平成3年(1991年)～令和2年(2020年)の30年平均値(平年値)である。(南知多観測所：2000年11月に移設)
 注3：最多風向及び平均風速のセントレア欄の下段()内の数値は、平成17年(2005年)～令和2年(2020年)の16年の平均値(平年値)である。
 注4：年間の欄の数値は、年間の平均風速及び年間の最多風向である。

- 出典1. 気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)
 2. 「セントレアの気象」(発行：中部航空地方気象台 <http://www.jma-net.go.jp/chubu-airport/>)

図 1-1 中部航空地方気象台における風向出現頻度（風配図）

調査期間：2024年4月1日～
2025年3月31日



方位	出現頻度 (%)
N	8.3
NNE	3.0
NE	2.0
ENE	1.8
E	2.1
ESE	6.4
SE	6.6
SSE	4.9
S	3.5
SSW	3.4
SW	2.9
WSW	3.5
W	10.6
WNW	10.4
NW	17.6
NNW	12.7
CALM	0.1

出典. 気象庁サイトのセントレアの気象データから集計、作成。

2. 中部国際空港の運用状況

2024年4月～2025年3月の中部国際空港の運用実績一覧については、表2-1のとおりである。

中部国際空港における航空年間旅客数、航空年間貨物取扱量、航空機の年間発着回数の開港からの年度別推移は図2-1、図2-2、図2-3のとおりである。

また、航空機発着の月別運用比率は図2-4およびその年度別推移は図2-5、航空機の最大離陸重量別年度別推移は図2-6、最大離陸重量別の主な航空機材リストは表2-2のとおりである。

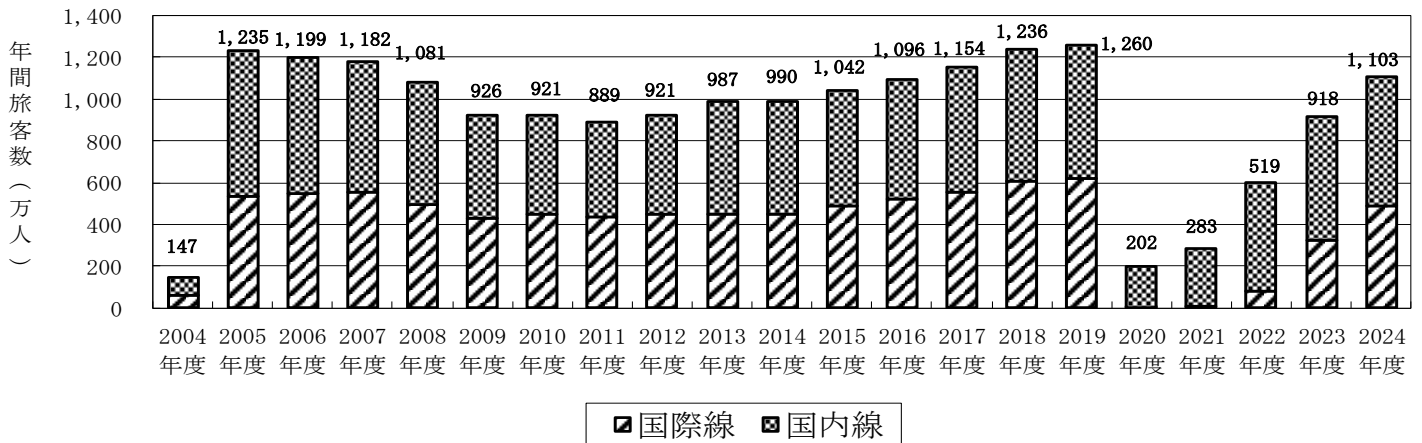
航空旅客数は、国際線・国内線とも前年に引き続き増加した。航空機発着回数及び航空貨物取扱量については国際線において増加がみられた。

表 2-1 中部国際空港の運用実績一覧

区分	単位	確定値												年度計		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計	10月	11月	12月	1月	2月		3月	下期計
1. 航空旅客数	人	815,692 (130)	844,573 (122)	852,151 (127)	917,175 (123)	1,054,272 (122)	870,040 (115)	5,353,903 (123)	935,623 (115)	940,331 (121)	927,456 (119)	934,482 (125)	909,214 (115)	1,037,819 (113)	5,684,925 (118)	11,038,828 (120)
国際線	"	362,711 (199)	364,622 (194)	386,917 (200)	400,751 (182)	484,549 (163)	355,497 (152)	2,305,047 (179)	396,251 (146)	411,493 (143)	430,370 (132)	470,597 (143)	436,568 (120)	463,867 (134)	2,609,146 (134)	4,914,193 (140)
日本人旅客	"	107,453 (219)	114,602 (178)	114,676 (166)	122,157 (141)	173,190 (144)	143,832 (139)	775,910 (157)	142,539 (135)	158,710 (127)	145,093 (129)	125,417 (119)	146,195 (135)	208,765 (122)	926,719 (127)	1,702,629 (139)
外国人旅客	"	255,142 (191)	249,874 (207)	270,835 (220)	277,994 (210)	260,925 (177)	210,597 (162)	1,525,367 (194)	253,634 (154)	252,519 (153)	285,165 (134)	343,818 (155)	290,037 (126)	254,638 (119)	1,679,811 (139)	3,205,178 (161)
通過者	"	116 (176)	146 (5)	1,406 (253)	600 (62)	434 (472)	1,068 (325)	3,770 (75)	78 (32)	264 (178)	112 (16)	1,362 (32)	336 (53)	464 (64)	2,616 (64)	6,386 (64)
国内線	"	452,981 (102)	479,951 (95)	465,234 (98)	516,424 (98)	619,723 (104)	514,543 (98)	3,048,856 (99)	539,372 (99)	528,838 (109)	497,086 (110)	463,885 (110)	472,646 (104)	573,952 (107)	3,075,779 (106)	6,124,635 (103)
2. 航空機発着回数	回	7,588 (119)	7,793 (116)	7,505 (115)	8,062 (112)	8,458 (116)	7,756 (107)	47,162 (114)	7,937 (108)	7,665 (113)	8,257 (112)	8,427 (114)	7,325 (106)	8,339 (110)	48,050 (111)	95,212 (112)
国際線	"	2,922 (175)	3,034 (167)	2,931 (165)	3,138 (161)	3,260 (152)	3,080 (137)	18,365 (158)	3,194 (131)	3,126 (134)	3,298 (123)	3,510 (131)	3,027 (118)	3,413 (120)	19,568 (126)	37,933 (140)
旅客便	"	2,362 (208)	2,494 (201)	2,419 (196)	2,603 (188)	2,668 (173)	2,503 (159)	15,049 (186)	2,581 (148)	2,442 (139)	2,628 (127)	2,897 (152)	2,553 (123)	2,810 (126)	15,911 (153)	30,960 (100)
貨物便	"	454 (102)	465 (100)	431 (91)	439 (91)	436 (88)	413 (78)	2,638 (91)	442 (76)	468 (101)	466 (100)	446 (115)	400 (110)	432 (86)	2,654 (96)	5,292 (94)
その他	"	106 (114)	75 (66)	81 (117)	96 (116)	156 (146)	164 (117)	678 (160)	171 (160)	216 (200)	204 (147)	167 (167)	74 (69)	171 (140)	1,003 (147)	1,681 (130)
国内線	"	4,666 (99)	4,789 (97)	4,574 (96)	4,924 (94)	5,198 (101)	4,676 (93)	28,797 (97)	4,743 (96)	4,639 (106)	4,959 (102)	4,917 (105)	4,298 (99)	4,926 (102)	26,482 (99)	57,279 (100)
旅客便	"	4,444 (97)	4,600 (96)	4,437 (97)	4,716 (94)	5,045 (102)	4,491 (93)	27,733 (97)	4,558 (97)	4,461 (103)	4,787 (107)	4,765 (107)	4,145 (99)	4,756 (105)	27,472 (103)	55,205 (100)
貨物便	"	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (50)	0 (-)	1 (33)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (25)
その他	"	222 (444)	159 (115)	137 (82)	208 (94)	152 (78)	185 (89)	1,063 (98)	185 (88)	178 (97)	172 (97)	152 (68)	153 (89)	170 (87)	1,010 (87)	2,073 (93)
3. 国際貨物取扱量	t	10,834 (120)	10,641 (114)	10,477 (109)	10,776 (113)	10,460 (123)	10,412 (95)	63,600 (112)	11,137 (110)	11,829 (107)	11,104 (103)	9,788 (111)	9,817 (102)	11,798 (99)	65,473 (105)	129,073 (108)
積込	"	5,628 (114)	5,251 (99)	5,060 (96)	5,242 (101)	5,210 (115)	4,716 (81)	31,107 (100)	5,402 (102)	5,635 (104)	5,368 (94)	4,428 (98)	4,741 (94)	5,080 (88)	30,654 (97)	61,761 (98)
取卸	"	5,206 (128)	5,390 (134)	5,417 (124)	5,534 (128)	5,250 (132)	5,696 (109)	32,493 (125)	5,735 (120)	6,194 (109)	5,736 (114)	5,360 (124)	5,076 (119)	6,718 (114)	34,819 (114)	67,312 (100)
4. 国内貨物取扱量	"	981 (101)	760 (75)	674 (61)	815 (74)	792 (71)	784 (78)	4,805 (76)	724 (69)	929 (107)	1,069 (108)	869 (131)	884 (123)	1,054 (130)	5,529 (108)	10,335 (90)
発送	"	431 (87)	362 (88)	338 (68)	402 (86)	394 (80)	431 (93)	2,358 (84)	347 (77)	431 (90)	512 (96)	391 (113)	396 (103)	488 (117)	2,565 (98)	4,923 (91)
到着	"	550 (116)	397 (66)	336 (55)	413 (65)	398 (63)	353 (64)	2,447 (70)	377 (64)	499 (127)	557 (121)	477 (151)	488 (147)	566 (118)	2,964 (90)	5,411 (90)
5. 給油量	k1	39,867 (112)	40,282 (109)	38,432 (104)	40,177 (103)	43,068 (105)	39,908 (115)	241,734 (104)	40,639 (94)	44,598 (111)	45,801 (111)	44,469 (120)	39,149 (111)	43,670 (111)	258,327 (108)	500,060 (106)
6. 構内営業売上高	百万円	2,516 (206)	2,500 (191)	2,662 (204)	2,775 (204)	2,913 (156)	2,278 (148)	15,643 (179)	2,617 (145)	2,606 (143)	2,812 (134)	2,965 (150)	2,821 (130)	2,637 (120)	16,458 (136)	32,102 (154)
免税店	"	1,402 (309)	1,382 (290)	1,500 (286)	1,478 (256)	1,417 (182)	1,084 (171)	8,263 (240)	1,367 (164)	1,308 (155)	1,413 (138)	1,631 (157)	1,557 (122)	1,301 (143)	8,576 (179)	16,840 (143)
一般物販店	"	649 (140)	639 (132)	664 (138)	724 (146)	857 (126)	651 (126)	4,185 (136)	692 (130)	738 (130)	810 (126)	810 (141)	715 (129)	735 (117)	4,453 (127)	8,638 (131)
飲食店	"	465 (153)	479 (138)	498 (154)	572 (142)	639 (142)	542 (140)	3,195 (135)	558 (135)	560 (136)	589 (136)	572 (143)	549 (127)	601 (121)	3,430 (132)	6,824 (143)
7. 来場者数	千人	1,057 (123)	1,066 (113)	1,088 (122)	1,214 (120)	1,403 (122)	1,110 (116)	6,938 (119)	1,154 (116)	1,161 (120)	1,216 (117)	1,173 (119)	1,149 (111)	1,106 (106)	7,097 (114)	14,036 (117)
8. 駐車場利用台数	千台	108 (114)	109 (105)	111 (114)	130 (108)	157 (109)	126 (113)	741 (110)	123 (111)	125 (119)	121 (110)	118 (112)	117 (106)	136 (106)	742 (110)	1,483 (110)

注1 ()内数値は前年同月比、小数点第1位を四捨五入。
 注2 国際貨物取扱量は名古屋空港、中部国際空港支店発着のもの。
 注3 集計差は端数処理の誤差。
 注4 一般物販店および飲食店は取扱店別。

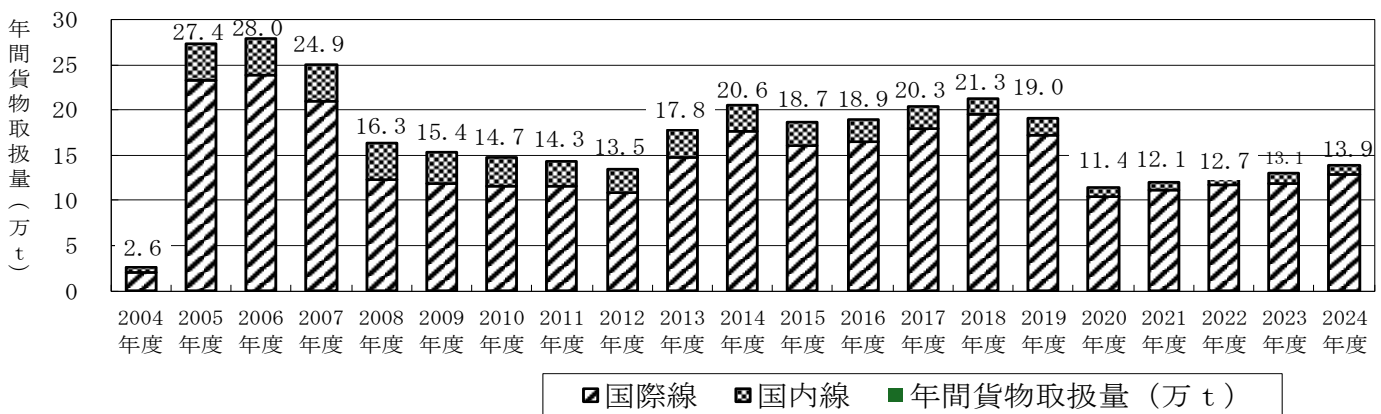
図 2-1 航空年間旅客数の推移



注 1：2004 年度の空港運用日数は、43 日間（2005 年 2 月 17 日～3 月 31 日）である。

注 2：グラフ中の数字は国際線、国内線の合計値を示す。

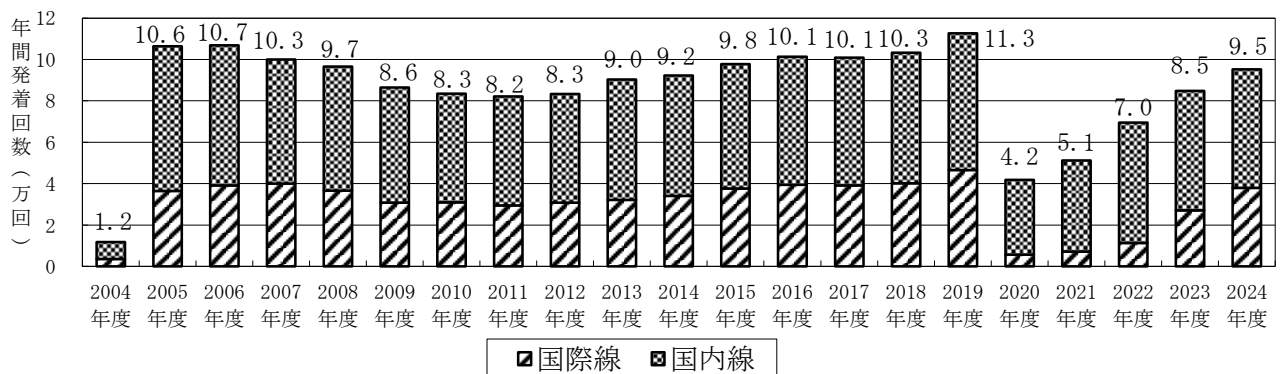
図 2-2 航空年間貨物取扱量の推移



注 1：2004 年度の空港運用日数は、43 日間（2005 年 2 月 17 日～3 月 31 日）である。

注 2：グラフ中の数字は国際線、国内線の合計値を示す。

図 2-3 航空機の年間発着回数の推移



注 1：2004 年度の空港運用日数は、43 日間（2005 年 2 月 17 日～3 月 31 日）である。

注 2：グラフ中の数字は国際線、国内線の合計値を示す。

図 2-4 航空機発着の月別運用比率

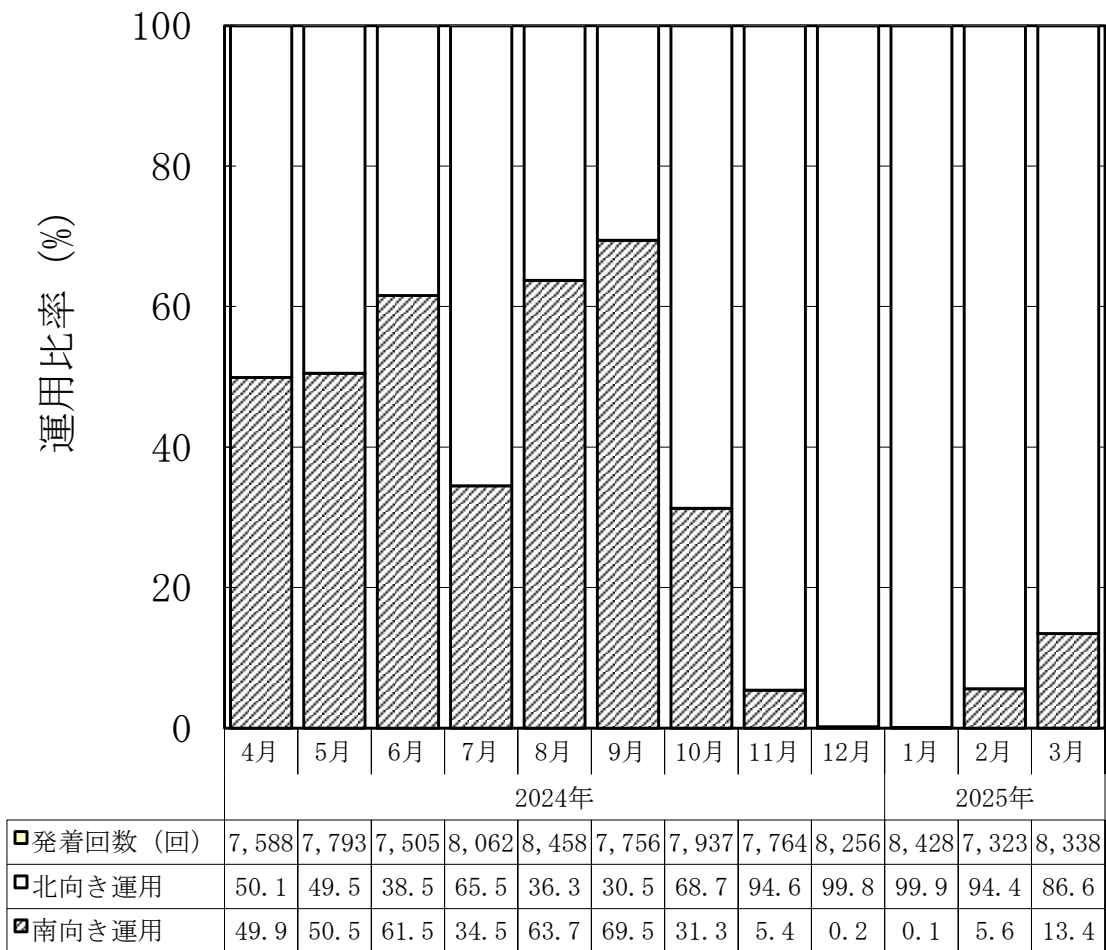
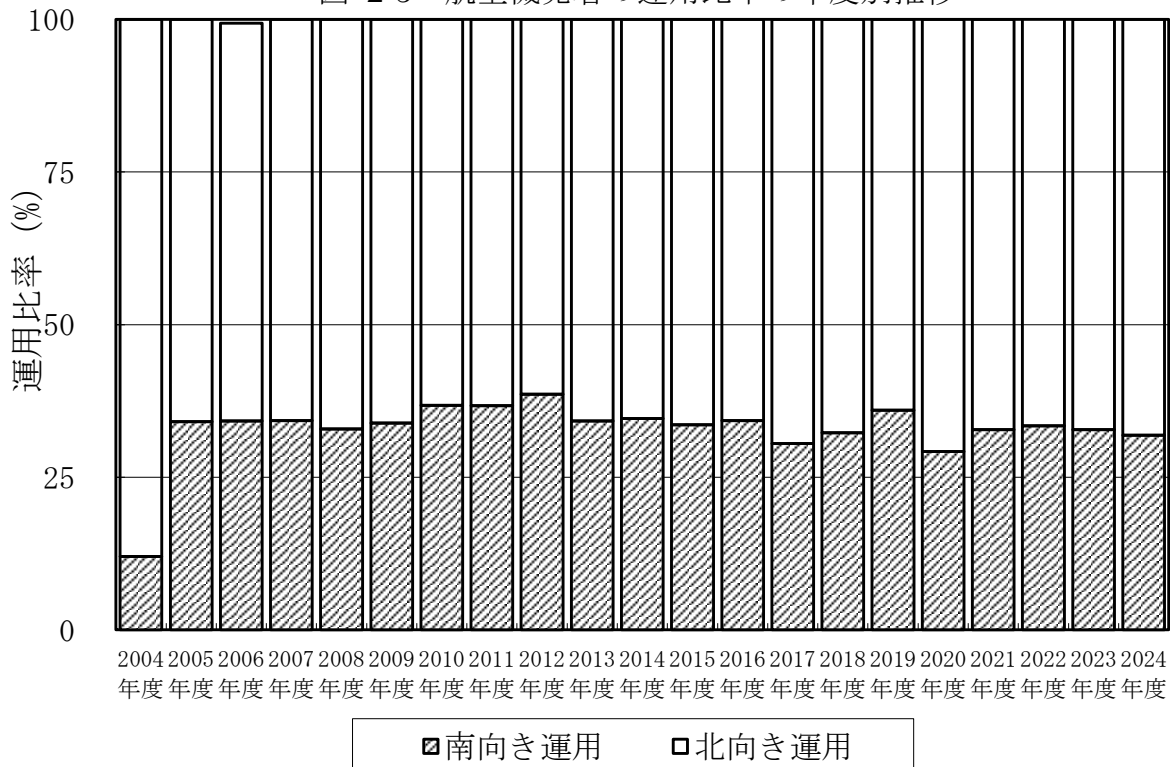


図 2-5 航空機発着の運用比率の年度別推移



2004 年度は 2 月 17 日～3 月 31 日の運用比率であり、参考として示した

図 2-6 航空機の最大離陸重量別年度別推移

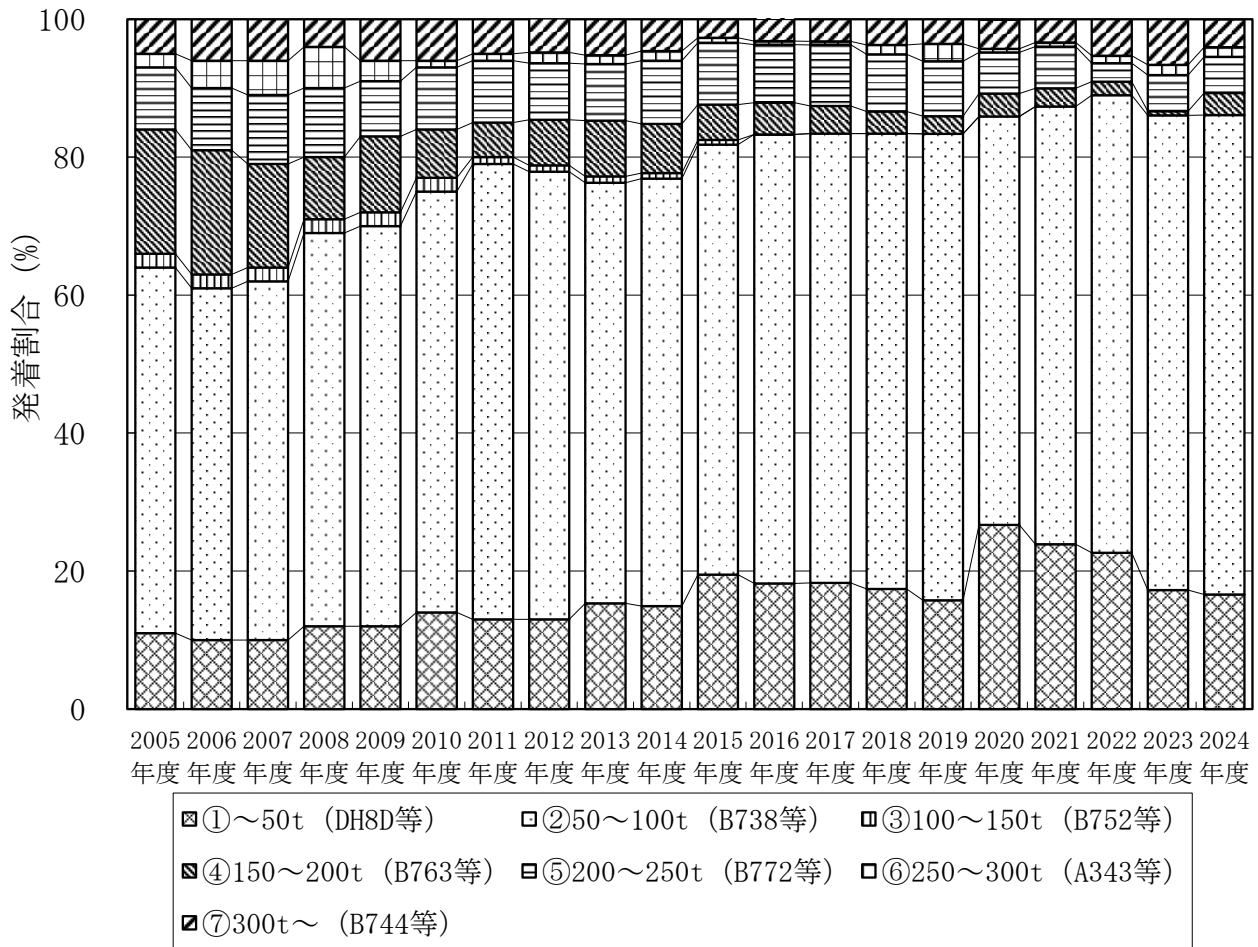


表 2-2 最大離陸重量別の主な航空機材リスト

最大離陸重量	機 材
⑦. 300t~	ボーイング747-400
	ボーイング747-8
	ボーイング747-LCF
	ボーイング777-300/300ER
	エアバスA340-600
	エアバスA350-1000
	エアバスA380-800
	アントノフAn-124
⑥. 250~300 t	エアバスA340-300
	エアバスA350-900
	ボーイング777-200ER
⑤. 200~250 t	エアバスA330-200
	エアバスA330-300
	ボーイング777-200
	ボーイング787-8、9、10
④. 150~200 t	エアバスA300-600/600R
	ボーイング767-300/300ER
③. 100~150 t	ボーイング757-200
②. 50~100 t	エアバスA319、A320、A321
	エアバスA320neo、A321neo
	エアバスA220
	ボーイング737-400、500
	ボーイング737-700、800、900
	ボーイング737MAX8、MAX9
①. ~50 t	ボンバルディアDHC-8
	ボンバルディアCRJ-200、700
	サーブ2000
	セスナ525C
	アグスタ ウェストランド139
	ベル412

3. 環境監視結果及び評価

航空機騒音

(1) 航空機騒音の評価指標

環境省の航空機騒音測定・評価マニュアル（以下「マニュアル」という。）に基づき、2013(平成 25)年度から Lden (時間帯補正等価騒音レベル) (※ 1)により評価を行った。ただし、開港時からの推移を考慮し、2012 年度までの旧評価指標である WECPNL(※ 2)を参考として示す。

なお、航空機騒音の評価指標が WECPNL から Lden に変更されたことに対応するために、2011 年度に Lden 及び WECPNL を算出できる航空機騒音監視システムに改修し、2012 年度から運用を開始している。

※ 1 Lden (時間帯補正等価騒音レベル)

1日の間に観測された航空機騒音の単発騒音暴露レベル(L_{AE})を時間帯別に補正（午後 7 時から午後 10 時まではプラス 5 デシベル、午後 10 時から翌日午前 7 時まではプラス 10 デシベル）した後にエネルギー加算し、観測時間(1 日=86,400 秒)で平均してレベル表示した値。単位はデシベル[dB]。

一般の騒音の大きさを表す騒音レベルとは異なる。

算式 1

$$L_{den} = 10 \log_{10} \left\{ \frac{T_0}{T} \left(\sum_i 10^{\frac{L_{AE,di}}{10}} + \sum_j 10^{\frac{L_{AE,ej+5}}{10}} + \sum_k 10^{\frac{L_{AE,nk+10}}{10}} \right) \right\} \quad (\text{注})$$

L_{AE,di} : 午前 7 時から午後 7 時までの時間帯における i 番目の L_{AE}

L_{AE,ej} : 午後 7 時から午後 10 時の時間帯における j 番目の L_{AE}

L_{AE,nk} : 午後 10 時から午前 7 時の時間帯における k 番目の L_{AE}

T₀ : 規準化時間 (1 秒)

T : 観測 1 日の時間 (86,400 秒=60 秒×60 分×24 時間)

関係する用語

ピークレベル : 航空機の騒音が発生するごとに観測される最大騒音レベルのこと。
単位はデシベル[dB]。

L_{AE} : 航空機 1 機が発生する騒音のエネルギー量。単位はデシベル[dB]。
単発騒音暴露レベルと言う。

L_{Aeq} : 時間帯ごとで算出している平均等価騒音レベル。単位はデシベル [dB]。

※2 WECPNL

WECPNL とは、加重等価平均感覚騒音レベル (Weighted Equivalent Continuous Perceived Noise Level) のことで、1973(昭和 48)年から 2012(平成 24)年度まで航空機騒音の評価指標として採用された。

19 時から 22 時まで発生した騒音の評価には、1 機騒音が発生したら 3 機分の重みを、22 時から翌日 7 時まで発生した騒音の評価には、10 機分の重みを付けている。単位はない。

算式 2

$$\text{WECPNL} = \overline{\text{dB(A)}} + 10 \log_{10} N - 27$$

$$N = N_2 + 3N_3 + 10(N_1 + N_4)$$

(注) $\overline{\text{dB(A)}}$: 航空機騒音が暗騒音より 10dB 以上大きい騒音のピークレベルを 1 日のすべてについてパワー平均したもの。

N_1 : 0 時～7 時までに測定された機数

N_2 : 7 時～19 時までに測定された機数

N_3 : 19 時～22 時までに測定された機数

N_4 : 22 時～24 時までに測定された機数

(「測定された機数」とは、暗騒音より 10dB 以上高い騒音を測定した機数を指す。)

(2) 環境監視結果

航空機騒音の調査期間及び調査地点は表 3-1 のとおりである。

常時監視は、開港時から常滑市、美浜町、弥富市、木曾岬町の 4 市町において行っている。

また、本年度の定期監視は、夏期は 2024 年 6 月 7 日～13 日に 7 地点で、冬期は 2025 年 2 月 19 日～25 日に 3 地点で行った。航空機騒音の調査地点の位置は、図 3-1 のとおりである。

表 3-1 調査期間及び調査地点

項目		調査期間	調査地点
常時監視		2024 年 4 月 01 日 ～ 2025 年 3 月 31 日	4 地点
定期監視 (注 1)	夏期	2024 年 6 月 7 日 ～ 2024 年 6 月 13 日	7 地点
	冬期	2025 年 2 月 19 日 ～ 2025 年 2 月 25 日	3 地点

常時監視局(注 2)	
①	常滑市立鬼崎中学校
②	美浜町野間(ちびっこ広場)
③	弥富市立大藤小学校
④	木曾岬町東部公民館

定期監視地点(注 2)		調査時期
T1	常滑市立常滑西小学校	夏期・冬期
T2	南知多町町民会館	冬期
A1	愛西市役所	夏期
A2	弥富市立十四山西部小学校	夏期
A3	弥富市鍋田公民館	夏期
M1	桑名市大山田地区市民センター	夏期
M2	木曾岬町農村集落多目的共同利用施設	夏期
M3	四日市市海蔵地区市民センター	夏期
M4	伊勢市神社みなとまち館	冬期

注 1：定期監視は各調査地点について 7 日間連続で測定を実施。

注 2：①～④及び T1～M4 は次ページの図 3-1 の地点番号に対応。

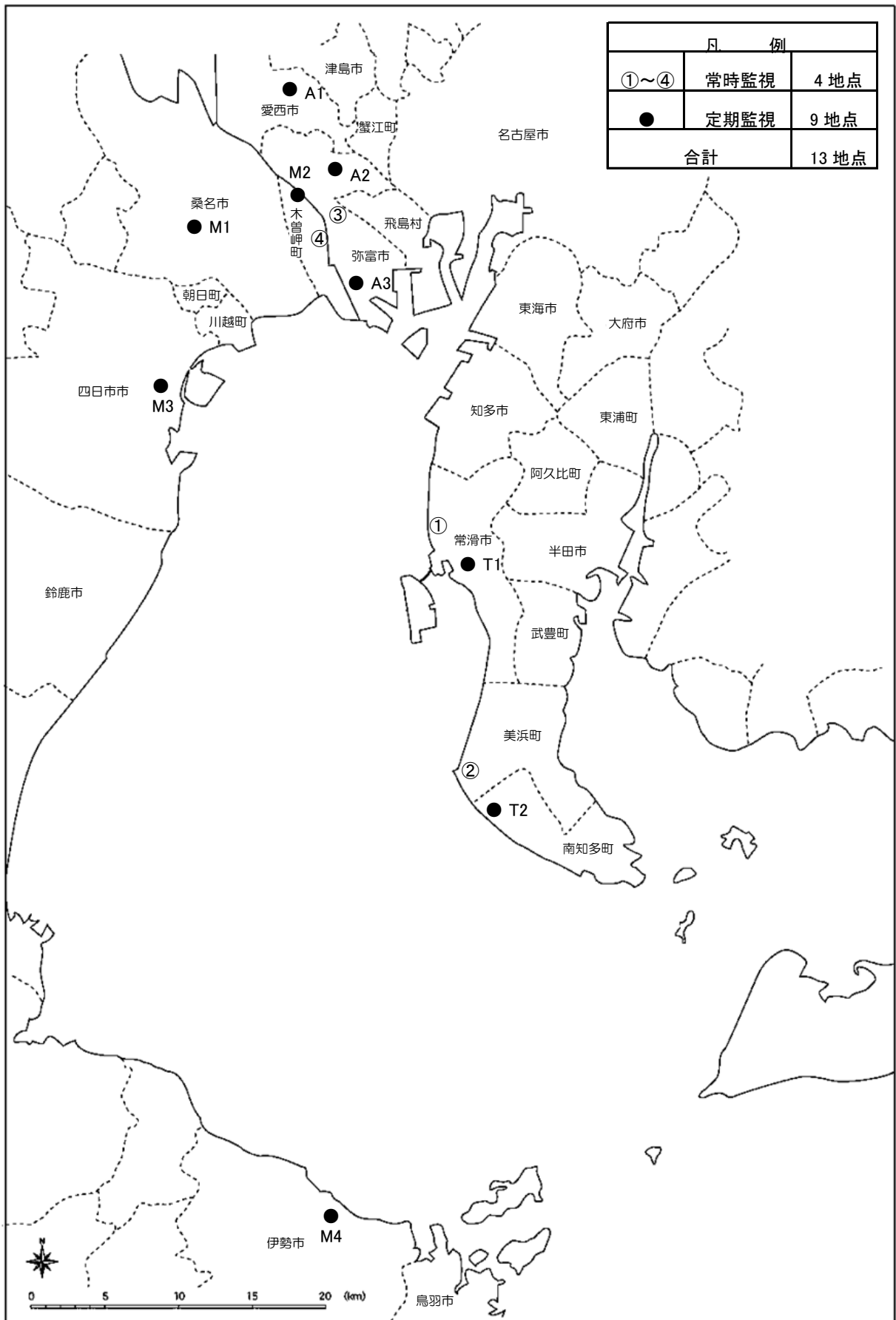


図 3-1 航空機騒音の調査地点（常時監視及び定期監視）

ア 常時監視結果

常滑市立鬼崎中学校、美浜町野間（ちびっこ広場）、弥富市立大藤小学校及び木曾岬町東部公民館における航空機騒音調査結果は、表 3-2(1)～(4)のとおりである。

常滑市立鬼崎中学校、美浜町野間（ちびっこ広場）、弥富市立大藤小学校、木曾岬町東部公民館のいずれの地点においても、測定値は 43dB であった。

各調査地点における月別の Lden 及び測定された機数は図 3-2 のとおりである。なお、「測定された機数」とは、暗騒音より 10dB 以上高い騒音を測定した機数であり、実際に飛行した航空機数とは異なる。（環境省の航空機騒音測定・評価マニュアル）

月間の Lden は、常滑市立鬼崎中学校では年間を通して 40dB～44dB、美浜町野間（ちびっこ広場）では年間を通して 41dB～45dB であった。これらに対し、弥富市立大藤小学校では 4 月～10 月が 42dB～46dB、11 月～3 月は 29dB～41dB、木曾岬町東部公民館では 4 月～10 月が 42dB～46dB、11 月～3 月は 31dB～41dB であった。

月別の測定された機数は、常滑市立鬼崎中学校では 1,600～3,100 機台で、12 月が 3,186 機と最も多く、7 月が 1,649 機と最も少なかった。

美浜町野間（ちびっこ広場）では 600～3,000 機台で、1 月が 3,036 機と最も多く、8 月が 626 機と最も少なかった。

弥富市立大藤小学校では 4 月～10 月は 1,100～2,100 機台で、8 月が 2,130 機と最も多く、11 月～3 月は 100～600 機台で、1 月が 199 機と最も少なかった。

木曾岬町東部公民館では 4 月～10 月は 1,100～2,100 機台で、8 月が 2,171 機と最も多く、11 月～3 月は 200～600 機台で、1 月が 252 機と最も少なかった。

年間機数は、常滑市立鬼崎中学校で最も多く、次いで美浜町野間（ちびっこ広場）、弥富市立大藤小学校、木曾岬町東部公民館の順で、常滑市立鬼崎中学校が 29,000 機程度であり、美浜町野間（ちびっこ広場）は 23,000 機程度、弥富市立大藤小学校、木曾岬町東部公民館はともに 13,000 機程度であった。

なお、各調査地点の測定機数は、基本的に航空機が風上に向かって離着陸する滑走路運用方式をとることから、空港島周辺の風向きに大きな影響を受ける。また、空港近傍では離陸便、着陸便の両方が測定されるが、空港から離れた地域では離陸便の高度が着陸便に対して高くなることから、着陸便が多く測定される。

こうしたことから、北風が吹く冬場は空港島の近くにある常滑市立鬼崎中学校では滑走路が“北向き運用”の離陸便が多く測定され、南側にある美浜町野間（ちびっこ広場）では、“北向き運用”の着陸便が多く測定される。

一方、南風が吹く夏場は、空港島の北側にある弥富市立大藤小学校と木曾岬町東部公民館では滑走路が“南向き運用”の着陸便が多く測定される。従って、月間の Lden は、常滑市立鬼崎中学校と、美浜町野間（ちびっこ広場）では年間を通じて大きな変動はないものの冬場に高く、弥富市立大藤小学校と木曾岬町東部公民館では夏場が高い傾向にあるものと考えられる。

各調査地点における最大離陸重量別の測定された機数は、図 3-3 のとおりである。また、最大離陸重量別の主な航空機材リストは表 3-3 のとおりである。

最大離陸重量別に各調査地点において測定された機数は、4 地点とも 50～100t（ボーイング 737、エアバス 320 等）の機材が最も多く、次いで常滑市立鬼崎中学校と美浜町野間（ちびっこ広場）では、200～250t（エアバス 330、ボーイング 787 等）の機材が多く、弥富市立大藤小学校と木曾岬町東部公民館では 50t 以下（ボンバルディア DHC-8、CRJ 等）の機材が多かった。

年間のピークレベルの度数分布は、表 3-4 のとおりである。

常滑市立鬼崎中学校では、測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 55～60dB（測定された機数の年間合計に占める割合 47.2%）であり、70dB 以上の機数の割合は 0.3%であった。

美浜町野間（ちびっこ公園）では、測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 55～60dB（同 60.5%）であり、70dB 以上の機数の割合は 0.4%であった。

弥富市立大藤小学校では、測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 60～65dB（同 59.8%）であり、70dB 以上の機数の割合は 0.5%であった。

木曾岬町東部公民館では、測定された機数が最も多いピークレベルの範囲は 60～65dB（同 62.6%）であり、70dB 以上の機数の割合は 0.4%であった。

表 3-2(1) 航空機騒音調査結果 (①常滑市立鬼崎中学校)

年月	測定 日数 (日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)							時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 24:00	月間 合計	日平均	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 7:00	WECPNL	ピーク レベルの パワー 平均	
2024年	4月	30	43	171	1,492	389	109	2,161	72	40	40	34	55	59
	5月	31	43	174	1,394	310	100	1,978	64	40	38	35	55	60
	6月	30	41	126	1,203	285	119	1,733	58	39	38	32	54	59
	7月	31	42	135	1,076	320	118	1,649	53	39	37	34	54	59
	8月	31	42	179	1,050	535	223	1,987	64	38	39	35	55	58
	9月	30	41	162	1,257	342	153	1,914	64	38	36	32	53	57
	10月	31	42	177	2,016	312	109	2,614	84	41	37	34	54	59
	11月	30	43	201	2,438	332	57	3,028	101	42	39	35	56	60
	12月	31	44	179	2,598	366	43	3,186	103	43	40	34	57	61
2025年	1月	31	44	164	2,552	365	64	3,145	101	43	40	34	56	60
	2月	28	43	138	2,084	323	40	2,585	92	43	39	33	56	60
	3月	31	43	167	2,313	377	75	2,932	95	42	40	33	56	60
	年間値	365	43	1,973	21,473	4,256	1,210	28,912	79				55	60

注1: 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

表 3-2(2) 航空機騒音調査結果 (②美浜町野間 (ちびっこ広場))

年月	測定 日数 (日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)							時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 24:00	月間 合計	日平均	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 7:00	WECPNL	ピーク レベルの パワー 平均	
2024年	4月	30	44	166	1,124	264	114	1,668	56	40	39	36	54	59
	5月	31	43	167	994	298	113	1,572	51	39	39	36	54	59
	6月	30	43	148	823	267	99	1,337	45	38	38	36	53	58
	7月	31	43	122	796	456	183	1,557	50	38	40	35	53	58
	8月	31	42	129	159	216	122	626	20	33	36	35	53	60
	9月	30	40	117	712	14	7	850	28	37	25	33	51	59
	10月	31	43	166	1,189	360	141	1,856	60	39	39	35	54	58
	11月	30	45	171	1,621	634	197	2,623	87	41	42	36	56	59
	12月	31	45	165	1,679	669	211	2,724	88	42	43	36	57	60
2025年	1月	31	44	144	1,971	713	208	3,036	98	42	43	35	56	59
	2月	28	44	133	1,540	525	176	2,374	85	41	42	36	56	60
	3月	31	44	168	1,817	528	178	2,691	87	42	42	36	56	59
	年間値	365	43	1,796	14,425	4,944	1,749	22,914	63				55	59

注1: 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

表 3-2 (3) 航空機騒音調査結果 (③弥富市立大藤小学校)

年 月	測定 日数 (日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)							時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 24:00	月間 合計	日平均	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 7:00	WECPNL	ピーク レベルの パワー 平均	
2024年	4月	30	45	4	1,045	301	29	1,379	46	44	46	31	56	64
	5月	31	45	8	1,126	311	47	1,492	48	44	45	33	56	64
	6月	30	45	8	1,303	356	51	1,718	57	44	45	33	56	63
	7月	31	42	2	947	209	25	1,183	38	42	42	28	53	62
	8月	31	45	3	1,596	468	63	2,130	69	44	46	32	56	62
	9月	30	46	4	1,523	490	73	2,090	70	44	46	33	56	62
	10月	31	43	1	888	220	21	1,130	36	42	43	28	53	63
	11月	30	36	0	346	28	5	379	13	37	35	21	47	62
	12月	31	29	0	227	6	0	233	8	32	15	—	41	59
2025年	1月	31	30	1	198	0	0	199	6	32	—	16	41	60
	2月	28	36	0	272	48	1	321	11	36	37	15	47	62
	3月	31	41	1	511	127	13	652	21	40	41	26	52	64
年間値		365	43	32	9,982	2,564	328	12,906	35				54	63

注1: 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

表 3-2 (4) 航空機騒音調査結果 (④木曾岬町東部公民館)

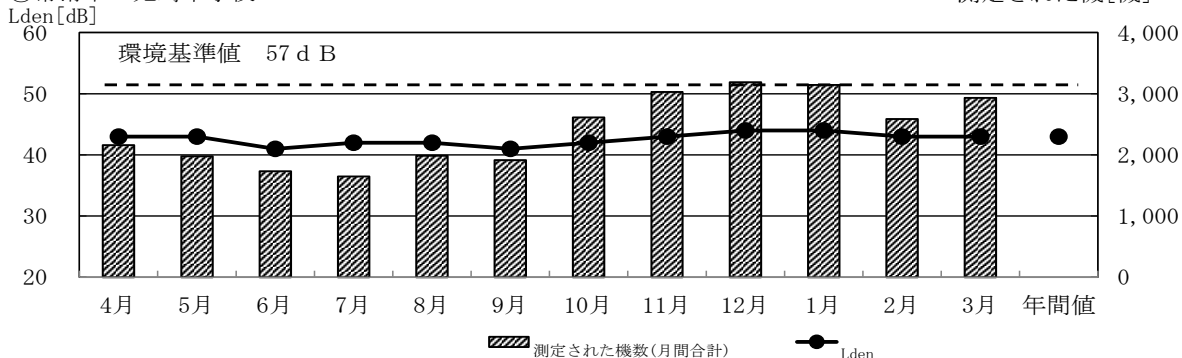
年 月	測定 日数 (日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)							時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
			0:00 ~ 7:00	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 24:00	月間 合計	日平均	7:00 ~ 19:00	19:00 ~ 22:00	22:00 ~ 7:00	WECPNL	ピーク レベルの パワー 平均	
2024年	4月	30	46	5	1,109	319	32	1,465	49	45	46	32	56	64
	5月	31	46	12	1,178	317	50	1,557	50	45	46	34	56	63
	6月	30	46	9	1,386	366	51	1,812	60	45	46	33	56	63
	7月	31	42	2	948	209	26	1,185	38	42	42	29	53	62
	8月	31	46	2	1,638	470	61	2,171	70	45	46	32	56	63
	9月	30	46	6	1,582	488	76	2,152	72	45	46	34	57	62
	10月	31	43	1	874	223	24	1,122	36	42	43	29	53	63
	11月	30	36	0	373	29	5	407	14	38	34	21	47	61
	12月	31	31	0	263	4	0	267	9	34	16	—	42	60
2025年	1月	31	32	1	250	1	0	252	8	34	7	16	43	60
	2月	28	37	0	316	49	1	366	13	37	37	13	47	62
	3月	31	41	1	556	127	12	696	22	40	42	26	51	63
年間値		365	43	39	10,473	2,602	338	13,452	37				54	63

注1: 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

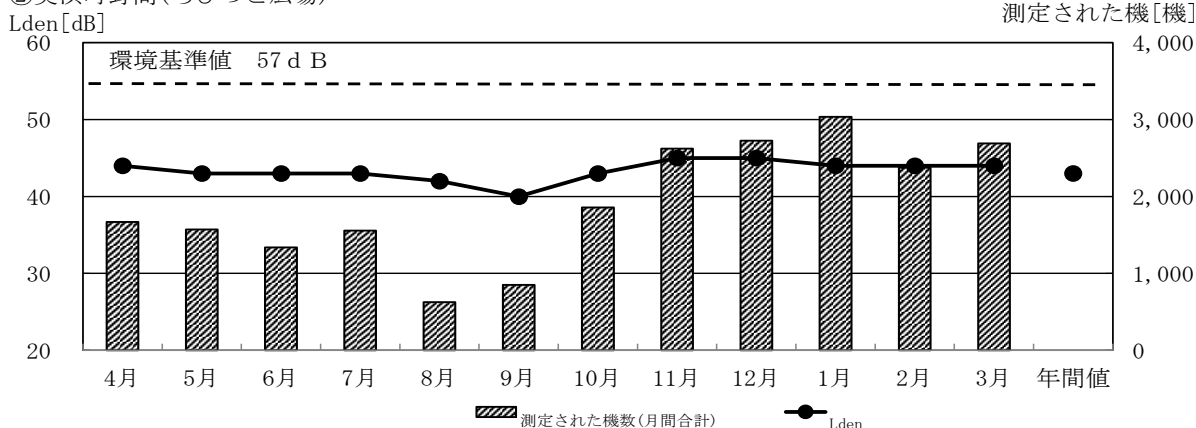
注2) 「—」は暗騒音より10dB以上のピークレベルが検出できなかったことを示す。

図 3-2 調査地点別の Lden 及び測定された機数

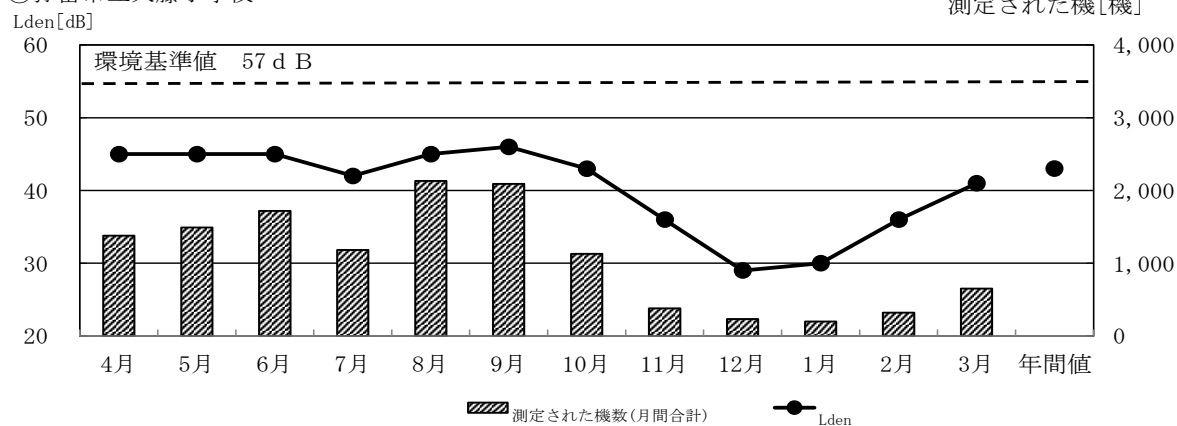
①常滑市立鬼崎中学校



②美浜町野間(ちびっこ広場)



③弥富市立大藤小学校



④木曾岬町東部公民館

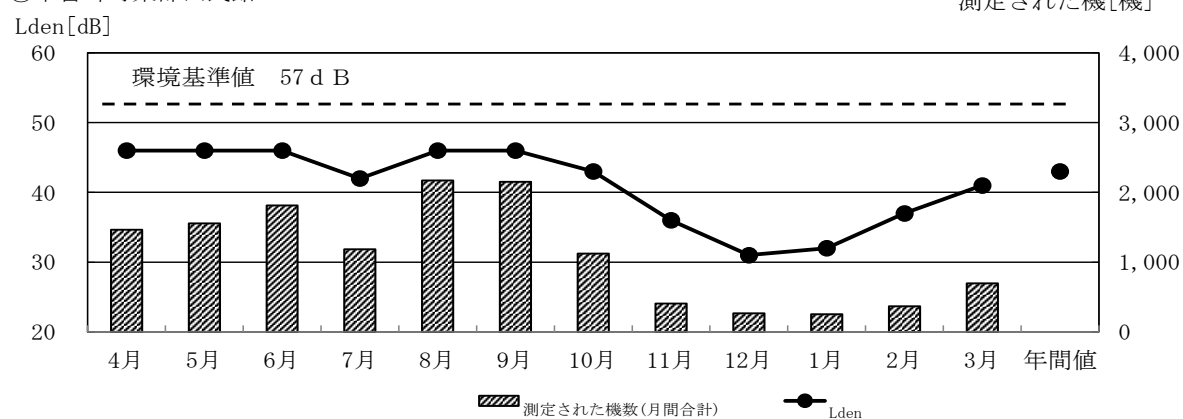
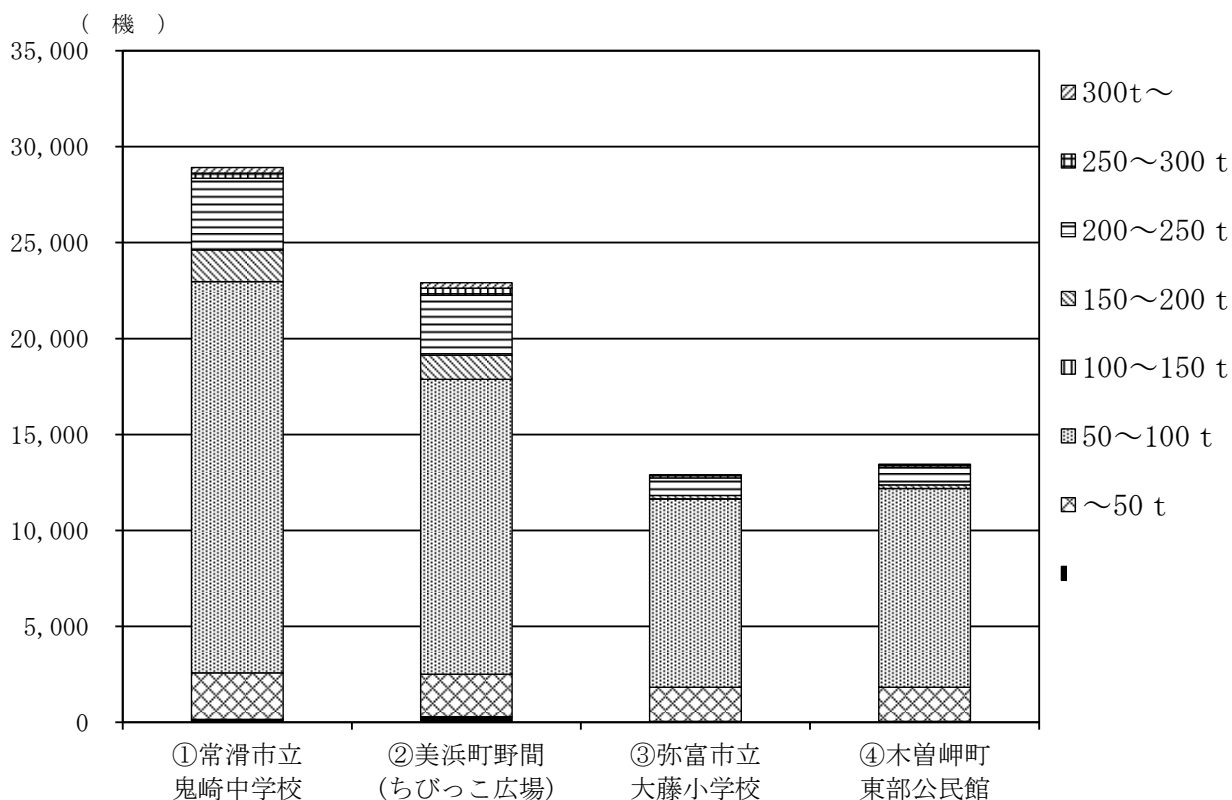


図 3-3 各調査地点における最大離陸重量別の測定された機数



注1：調査期間は 2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

表 3-3 各調査地点における最大離陸重量別の測定された機数

最大離陸重量	機 材
300t~	ボーイング747-200
	ボーイング747-400
	ボーイング747-8
	ボーイング747-LCF
	ボーイング777-300/300ER
	エアバスA380-800
	アントノフ
250~300 t	エアバスA340-300
	ボーイング747-400D
200~250 t	エアバスA330-200
	エアバスA330-300
	ボーイング777-200/200ER
	ボーイング787-800
	ボーイング787-900
150~200 t	エアバスA300-600/600R
	ボーイング767-300/300ER
100~150 t	ボーイング757-200
50~100 t	エアバスA319-100
	エアバスA320-200
	エアバスA321-200
	ボーイング737-400
	ボーイング737-500
	ボーイング737-700
	ボーイング737-800
	ボーイング737-900
~50 t	ボンバルディアDHC-8
	ボンバルディアCRJ
	サーブ2000
	セスナ525C
	アグスタ ウェストランド139
	ベル412

表 3-4 ピークレベルの度数分布（常時監視）

① 常滑市立鬼崎中学校

年月	測定された機数(注1)					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
2024年4月	666	1,017	395	75	8	2,161
5月	558	898	436	75	11	1,978
6月	508	920	266	33	6	1,733
7月	468	883	241	47	10	1,649
8月	810	887	242	41	7	1,987
9月	873	823	185	31	2	1,914
10月	872	1,267	417	51	7	2,614
11月	731	1,495	702	93	7	3,028
12月	460	1,452	1,089	176	9	3,186
2025年1月	539	1,465	984	154	3	3,145
2月	421	1,131	911	120	2	2,585
3月	609	1,397	785	133	8	2,932
合計	7,515	13,635	6,653	1,029	80	28,912
割合(%)	26.0	47.2	23.0	3.6	0.3	100.0

②美浜町野間（ちびっこ広場）

年月	測定された機数(注1)					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	合計 機数
2024年4月	378	982	247	51	10	1,668
5月	288	990	245	35	14	1,572
6月	417	766	114	32	8	1,337
7月	587	820	118	26	6	1,557
8月	196	295	107	21	7	626
9月	311	403	102	29	5	850
10月	499	1,126	201	26	4	1,856
11月	432	1,687	462	41	1	2,623
12月	282	1,670	702	56	14	2,724
2025年1月	384	1,970	641	39	2	3,036
2月	281	1,453	586	41	13	2,374
3月	418	1,707	530	28	8	2,691
合計	4,473	13,869	4,055	425	92	22,914
割合(%)	19.5	60.5	17.7	1.9	0.4	100.0

③ 弥富市立大藤小学校

年月	測定された機数					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	月間 合計
2024年4月	26	182	881	277	13	1,379
5月	36	227	890	327	12	1,492
6月	54	278	1,138	239	9	1,718
7月	74	320	706	81	2	1,183
8月	71	502	1,361	182	14	2,130
9月	64	497	1,329	196	4	2,090
10月	66	213	704	145	2	1,130
11月	52	140	149	36	2	379
12月	76	92	59	6	0	233
2025年1月	63	86	46	3	1	199
2月	64	77	143	35	2	321
3月	87	161	308	90	6	652
年間値	733	2,775	7,714	1,617	67	12,906
割合(%)	5.7	21.5	59.8	12.5	0.5	100.0

④木曾岬町東部公民館

年月	測定された機数					
	55dB 未満	55dB ～ 60dB	60dB ～ 65dB	65dB ～ 70dB	70dB 以上	月間 合計
2024年4月	32	161	974	291	7	1,465
5月	37	209	999	303	9	1,557
6月	46	300	1,220	239	7	1,812
7月	47	271	766	98	3	1,185
8月	48	434	1,478	203	8	2,171
9月	66	460	1,435	183	8	2,152
10月	64	232	689	129	8	1,122
11月	63	133	174	37	0	407
12月	55	131	77	4	0	267
2025年1月	64	106	79	1	2	252
2月	61	104	163	37	1	366
3月	61	164	365	101	5	696
年間値	644	2,705	8,419	1,626	58	13,452
割合(%)	4.8	20.1	62.6	12.1	0.4	100.0

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

イ 定期監視結果

2024年度の定期監視は、夏期を2024年6月7日～13日に、冬期を2025年2月19日～25日に実施し、調査結果は、表3-5(1)、表3-5(2)のとおりである。

夏期の定期監視のLdenは36dB～48dBの範囲であり、冬期の定期監視のLdenは38dB～42dBの範囲であった。

夏期の定期監視のピークレベルの度数分布は表3-6(1)のとおりである。70dB以上のピークレベルが測定されたのは、常滑市(T1)、愛西市(A1)、弥富市(A2)、弥富市(A3)、桑名市(M1)であった。

冬期の定期監視のピークレベルの度数分布は表3-6(2)のとおりである。70dB以上のピークレベルが測定されたのは、常滑市(T1)、南知多町(T2)、伊勢市(M4)であった。

また、各調査地点の測定機数は、常時監視結果と同様、空港島周辺の風向きが運用方向に影響するため、空港島に近い常滑市立常滑西小学校(T1)は、冬場の北風が吹くときに多くなっている。

空港島の南側にある南知多町町民会館(T2)、三重県伊勢市神社みなとまち館(M4)は、到着機の通過が多くなる冬場に調査を実施している。

一方で、空港島の北側にある愛知県海部地区の愛西市役所(A1)、弥富市十四山西部小学校(A2)、弥富市鍋田公民館(A3)、三重県の桑名市大山田地区市民センター(M1)、木曾岬町農村集落多目的共同利用施設(M2)、四日市市海蔵地区市民センター(M3)は、到着機の通過が多くなる夏場に調査を実施している。

表 3-5(1) 航空機騒音調査結果（定期監視：夏期）

調査期間：2024年06月07日(金)～06月13日(木)

調査地点				測定 日数 (日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)						時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
地区	番号	市町村名	施設名称			0:00 ～ 7:00	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 24:00	計	日平均	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 7:00	WECPNL	ヒールレベル のパー 平均値 (dB)
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	7	36	29	59	51	29	168	24	28	34	28	50	56
愛知県 海部地区	A 1	愛西市	愛西市役所	7	39	3	198	66	9	276	39	38	39	24	50	59
	A 2	弥富市	十四山西部小学校	7	45	3	388	117	15	523	75	44	46	33	55	61
	A 3	弥富市	鍋田公民館	7	48	4	418	129	16	567	81	47	48	35	58	64
三重県	M 1	桑名市	大山田地区市民センター(注2)	7	40	3	121	38	3	165	24	38	39	29	51	62
	M 2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	7	43	1	372	118	16	507	72	42	43	30	53	59
	M 3	四日市市	海蔵地区市民センター	7	37	1	91	23	4	119	17	38	36	23	48	60

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10 dB以上高くなった航空機の機数である。

注2：大山田地区市民センターは設置作業が困難なため、陵成中学校で実施した。

表 3-5(2) 航空機騒音調査結果（定期監視：冬期）

調査期間：2025年02月19日(水)～02月25日(火)

調査地点				測定 日数 (日)	L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)						時間帯別 L_{Aeq} (dB)			(参考)	
地区	番号	市町村名	施設名称			0:00 ～ 7:00	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 24:00	計	日平均	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 7:00	WECPNL	ヒールレベル のパー 平均値 (dB)
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	7	39	45	363	84	5	497	71	38	36	30	53	58
	T 2	南知多町	町民会館	7	38	30	116	65	27	238	34	36	34	30	53	59
三重県	M 4	伊勢市	神社みなとまち館	7	42	36	200	75	18	329	47	40	39	33	56	61

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10 dB以上高くなった航空機の機数である。

表 3-6(1) 航空機騒音のピークレベルの度数分布（定期監視：夏期）

調査期間：2024年06月07日（金）～ 2024年06月13日（木）

調査地点				測定された機数（機）（注1）					
地区	番号	市町村名	施設名称	55dB未満	55dB～60dB	60dB～65dB	65dB～70dB	70dB以上	合計機数
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	112	42	13	0	1	168
愛知県 海部地区	A 1	愛西市	愛西市役所	108	104	61	2	1	276
	A 2	弥富市	十四山西部小学校	30	181	290	21	1	523
	A 3	弥富市	鍋田公民館	3	53	394	114	3	567
三重県	M 1	桑名市	大山田地区市民センター（注2）	11	64	73	14	3	165
	M 2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	106	288	94	19	0	507
	M 3	四日市市	海蔵地区市民センター	6	68	39	6	0	119

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注2：大山田地区市民センターは設置作業が困難なため、陵成中学校で実施した。

表 3-6(2) 航空機騒音のピークレベルの度数分布（定期監視：冬期）

調査期間：2025年02月19日（水）～ 2025年02月25日（火）

調査地点				測定された機数（機）（注1）					
地区	番号	市町村名	施設名称	55dB未満	55dB～60dB	60dB～65dB	65dB～70dB	70dB以上	合計機数
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	151	285	58	2	1	497
	T 2	南知多町	町民会館	109	94	29	3	3	238
三重県	M 4	伊勢市	神社みなとまち館	82	123	101	19	4	329

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

(3) 航空機騒音の項目別比較検討

評価を行うにあたり、次の①と②について比較・検討した。

① 環境基準値との比較

環境監視結果について、環境基準値（I 類型の基準値 Lden 57dB（表 3-7））と比較した。

② 推移

5年間の推移から変動傾向を把握した。

ア 環境基準値との比較

(ア) 常時監視結果

2024 年度の常時監視 4 地点における航空機騒音調査結果は、表 3-8 のとおりである。

Lden は、常滑市立鬼崎中学校、美浜町野間（ちびっこ広場）、弥富市立大藤小学校、木曾岬町東部公民館のいずれの地点においても、測定値は 43dB であった。

環境基準値と比較した結果、4 地点全てにおいて航空機騒音の環境基準（I 類型の基準値 Lden 57dB、以下同じ）を満たしていた。

なお、月別の Lden は、空港島の北側にある調査地点では春から夏が高くなり、空港島の周辺や南側にある調査地点では、年間を通じて大きな変動はないものの、秋から冬が高い値となった（P16 図 3-2 参照）。これは、春から夏は南向き運用比率が高く、秋から冬は北向き運用比率が高いためである。

(イ) 定期監視結果

2024 年度の夏期定期監視 7 地点、冬期定期監視 3 地点における航空機騒音調査結果は、表 3-9 のとおりである。

Lden は 36dB～48dB の範囲にあり、環境基準値と比較した結果、全ての調査地点において航空機騒音の環境基準を満たしていた。

図 2-4 に示したとおり運用比率は、2024 年 6 月に実施した定期監視（夏期）は南向き運用の比率が高く、空港島の北側にある愛知県の愛西市（A1）、弥富市（A2、A3）や三重県の桑名市（M1）、木曾岬町（M2）、四日市市（M3）は、南向き運用の着陸便の影響を受けた値となっている。2025 年 2 月に実施した定期監視（冬期）は、北向き運用の比率が高く、愛知県の南知多町（T2）、三重県の伊勢市（M4）は、北向き運用の着陸便の影響を受けた値となり、同様に常滑市（T1）は、北向き運用の離陸便の影響を受けた値となっている。

なお、参考までに、愛知県及び三重県が実施した中部国際空港に係る航空機騒音の調査結果を表 3-10 及び表 3-11 に示す。

表 3-7 航空機騒音に係る環境基準

< 中部国際空港の航空機騒音に係る環境基準 >

該当地域		地域の 類型	基準値	施行
愛 知 県	常滑市、弥富市、海部郡飛島村並びに知多郡南知多町及び美浜町の区域。ただし、空港島の区域、河川区域及び工業専用地域を除く。	I	Lden 57dB 以下	平成 18(2006)年 4 月 1 日
三 重 県	桑名市の長島町、鳥羽市の答志島及び木曾岬町の区域。ただし、河川区域を除く。	I		平成 19(2007)年 4 月 1 日

(昭和48.12.27 環境庁告示第154号)

改正 平5環告91

改正 平12環告78

改正 平成19年環告114

環境基本法（平成5年法律第91号）第16条第1項の規定に基づく騒音に係る環境上の条件につき、生活環境を保全し、人の健康の保護に資するうえで維持することが望ましい航空機騒音に係る基準（以下「環境基準」という。）及びその達成期間は、次のとおりとする。

第1 環境基準

1 環境基準は、地域の類型ごとに次表の基準値の欄に掲げるとおりとし、各類型をあてはめる地域は、都道府県知事が指定する。

地域の類型	基準値
I	57デシベル以下
II	62デシベル以下

(注) I をあてはめる地域は専ら住居の用に供される地域とし、II をあてはめる地域は I 以外の地域であつて通常の生活を保全する必要がある地域とする。

(出典：環境省HP)

表 3-8 航空機騒音調査結果（常時監視）

調査期間：2024年4月1日～2025年3月31日

調査地点	環境基準		L_{den} (dB)	測定された機数 (機) (注1)		時間帯別 L_{Aeq} (dB)			測定 日数 (日)	(参考)	
	地域 の 類型	環境 基準 値 L_{den} (dB)		年間	日平均	7:00 ～ 19:00	19:00 ～ 22:00	22:00 ～ 7:00		WECPNL	ヒールレベル の バ ー ク の 平 均 値 (dB)
①常滑市立 鬼崎中学校	I	57以下	43	28,912	79	41	39	34	365	55	60
②美浜町野間 (ちびっこ広場)	I	57以下	43	22,914	63	40	40	36	365	55	59
③弥富市立 大藤小学校	I	57以下	43	12,906	35	42	43	30	365	54	63
④木曾岬町 東部公民館	I	57以下	43	13,452	37	42	43	30	365	54	63

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

表 3-9 航空機騒音調査結果（定期監視）

調査期間：2025年2月19日（水）～2月25日（火）

調 査 地 点				環境基準		調査期間 (注2)	測定 日数 (日)	調 査 結 果			
地区	番号	市町村名	施 設 名 称	地域 の 類型 (注1)	環 境 基 準 値			L_{den} (dB)	測定され た機数 (機) (注3)	測定され た機数の 1日平均 (機)	(参考) WECPNL
愛知県 知多地区	T 1	常滑市	常滑西小学校	I	L_{den} 57以下	調査期間 1	7	36	168	24	50
						調査期間 2	7	39	497	71	53
	T 2	南知多町	町民会館	I	L_{den} 57以下	調査期間 2	7	38	238	34	53
愛知県 海部地区	A 1	愛西市	愛西市役所	—	—	調査期間 1	7	39	276	39	50
	A 2	弥富市	十四山西部小学校	I	L_{den} 57以下	調査期間 1	7	45	523	75	55
	A 3	弥富市	鍋田公民館	I	L_{den} 57以下	調査期間 1	7	48	567	81	58
三重県	M 1	桑名市	大山田地区市民センター(注4)	—	—	調査期間 1	7	40	165	24	51
	M 2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	I	L_{den} 57以下	調査期間 1	7	43	507	72	53
	M 3	四日市市	海蔵地区市民センター	—	—	調査期間 1	7	37	119	17	48
	M 4	伊勢市	神社みなとまち館	—	—	調査期間 3	7	42	329	47	56

注1：「—」は、類型指定されていないことを示す。

注2：調査期間 1：2024年06月07日(金)～06月13日(木)

注2：調査期間 2：2025年02月19日(水)～02月25日(火)

注3：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

注4：大山田地区市民センターでの設置作業が困難なため、陵成中学校にて実施した。

表 3-10 中部国際空港に係る愛知県の航空機騒音の調査結果

(単位：dB)

No.	調査地点	調査実施期間	調査結果	環境基準	調査機関
1	海部郡飛島村大字服岡八丁目	7/3 ~ 7/9	32	57	愛知県
		1/9 ~ 1/15			
2	弥富市鍋田町稲山	6/25 ~ 7/1	42	57	愛知県
		1/18 ~ 1/24			
3	常滑市樽水町二丁目	6/17 ~ 6/23	39	57	愛知県
		1/29 ~ 2/4			
4	知多郡美浜町大字上野間字泉乙	5/28 ~ 6/3	34	57	愛知県
		2/7 ~ 2/13			
5	知多郡南知多町大字豊浜字須佐ヶ丘	6/7 ~ 6/13	32	57	愛知県
		2/18 ~ 2/24			

(注) No. 1 は施設の電源不具合のため、2019年度冬季から測定地点を変更した。

注1：- は類型指定されていないことを示す。

注2：2025年9月末時点で公表されている調査結果を掲載。

出典：愛知県ホームページ「2024年度交通騒音・振動調査結果について」から抜粋。

表 3-11 中部国際空港に係る三重県の航空機騒音の調査結果

調査地点 桑名市長島地区市民センター(桑名市長島町松ヶ島 38 付近)
 調査期間 令和6年7月 18 日(木)～7月 24 日(水)

調査日	評価値 L _{den} [dB]	参考値						
		航空機騒音の L _{Aeq} [dB]			騒音発生回数			
		L _{Aeq,d}	L _{Aeq,e}	L _{Aeq,n}	昼間	夕方	夜間	計
7月 18 日(木)	26.2	29.2	-	-	1	0	0	1
7月 19 日(金)	27.0	21.4	30.4	-	1	1	0	2
7月 20 日(土)	-	-	-	-	0	0	0	0
7月 21 日(日)	31.7	28.7	-	24.7	1	0	1	2
7月 22 日(月)	26.5	29.5	-	-	2	0	0	2
7月 23 日(火)	20.0	23.0	-	-	1	0	0	1
7月 24 日(水)	23.1	26.1	-	-	1	0	0	1
測定期間全体	26.5	26.7	21.9	16.2	1	0	0	1

令和6年度 航空機騒音 地点別調査結果一覧表

地点 番号	測定場所	用途地域	地 域 類 型	評価値 L _{den} [dB]	測定期間
1	桑名市長島地区市民センター (桑名市長島町松ヶ島 38 付近)	第2種住居地域	I	27	短期測定 7/18 ~ 7/24

出典：三重県環境生活部大気・水環境課ウェブサイトから抜粋。

イ 推移

(ア) 常時監視結果

中部国際空港の航空機騒音の変動傾向を把握するため、5年間の常時監視調査結果の推移をとりまとめた。常時監視結果の推移は、表 3-12 及び図 3-4 のとおりである。

4局とも2024年度は前年度と比較して、測定された機数は増加しており、Ldenについても同程度かわずかに上昇した。

表 3-12 7年間の Lden と測定された機数の推移（常時監視）

測定地点	常時監視局結果の年間の推移						
	上段：Lden値（dB） 下段：測定された機数の日平均（機）（注1）						
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
①常滑市 鬼崎中学校	44(注2)	43(注2)(注3)	41	41	42	42	43
	69(注2)	81(注2)(注3)	34	41	55	68	79
②美浜町野間 (ちびっこ広場)	44	44	41	42	42	43	43
	62	68	26	30	44	54	63
③弥富市 大藤小学校	45	45	39	41	42	43	43
	46	53	16	19	26	31	35
④木曾岬町 東部公民館	45	45	39	41	42(注4)	43	43
	47	53	16	19	26(注4)	33	37

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。

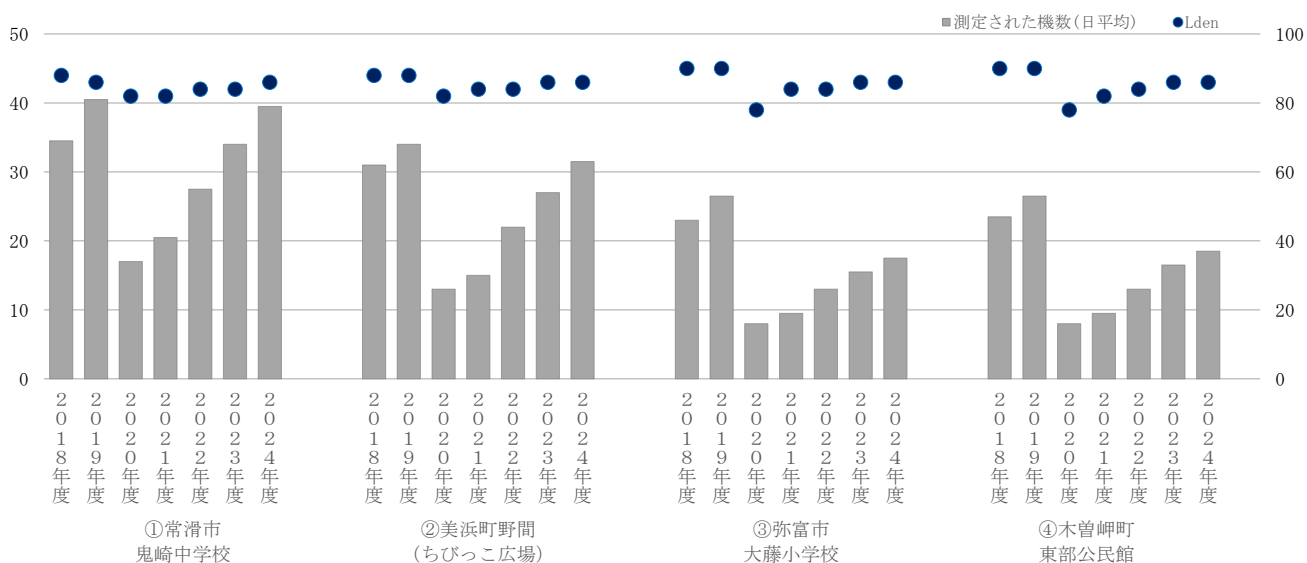
注2：2018年8月9日～2019年3月31日までは、校舎改修工事のため、常滑市立鬼崎西保育園で測定を実施。

注3：2022年6月30日は、測定機器の不具合のため欠測。

注4：2019年5月30日～2019年5月29日までは、測定機器の再設置工事のため欠測。

注5：2022年6月30日は、測定機器の不具合のため欠測。

図 3-4 7年間の Lden と測定された機数の推移（常時監視）



(イ)定期監視結果

定期監視結果の変動傾向を把握するため、5年間の調査結果の推移をとりまとめた。夏期監視結果の推移は、表 3-13(1)及び図 3-5(1)、冬期監視結果は、表 3-13(2)、図 3-5(2)のとおりである。

なお、2020年度と2021年度は新型コロナウイルスの影響で大幅に便数が減少したため、定期調査は中止したが、2022年度より再開している。

表 3-13(1) 5年間の Lden 及び測定された機数の推移 (定期監視：夏期)

調査地点				定期監視結果(夏期)の推移					
地区	番号	市町村名	施設名称	上段：Lden値 (dB) 下段：測定された機数の日平均(機)(注1)					
				2018年度	2019年度	2022年度	2023年度	2024年度	
愛知県	知多	T1	常滑市	常滑西小学校	40	39	37	36	36
					45	52	23	23	24
	海部	A1	愛西市	愛西市役所	36	41	31	37	39
					21	46	11	22	39
		A2	弥富市	十四山西部小学校	42	45	40	41	45
					56	83	25	31	75
A3	弥富市	鍋田公民館	45	48	44	46	48		
			58	94	39	52	81		
三重県	M1	桑名市	大山田地区市民センター(注2)	38	37	33	35	40	
				16	20	9	11	24	
	M2	木曾岬町	農村集落多目的共同利用施設	40	43	39	40	43	
				44	83	33	42	72	
	M3	四日市市	海蔵地区市民センター	37	39	31	36	37	
				16	17	7	10	17	

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数である。
注2：2016年度から陵成中学校で測定を実施。

図 3-5(1) 5年間の Lden と測定された機数の推移 (T1,A1,A2,A3,M1,M2,M3)

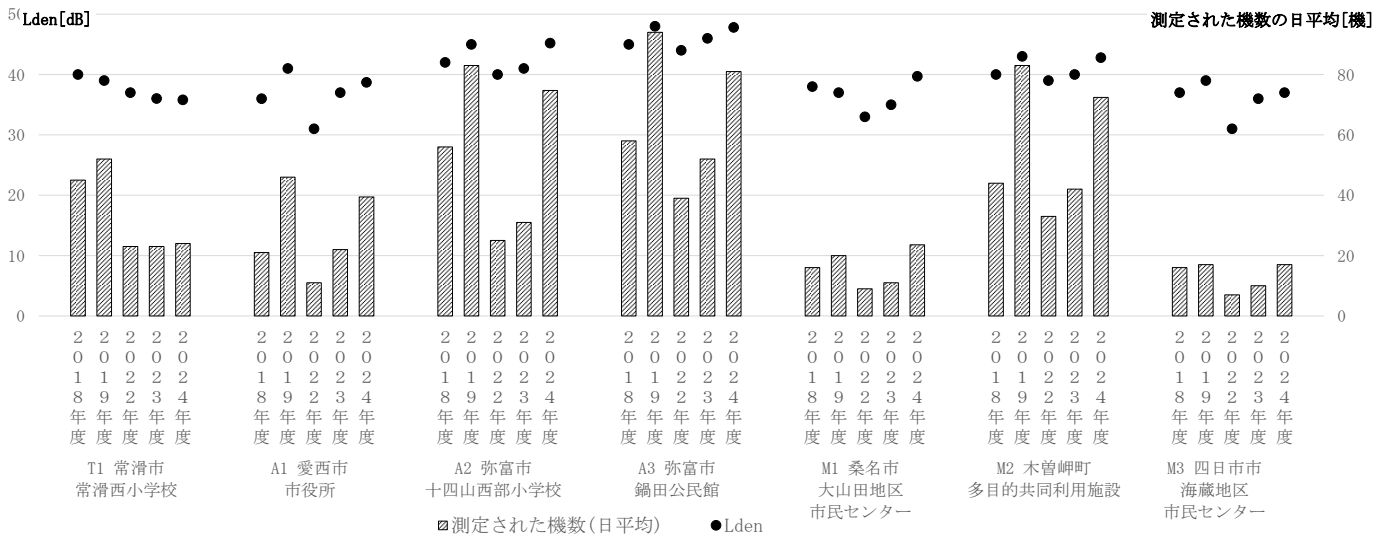
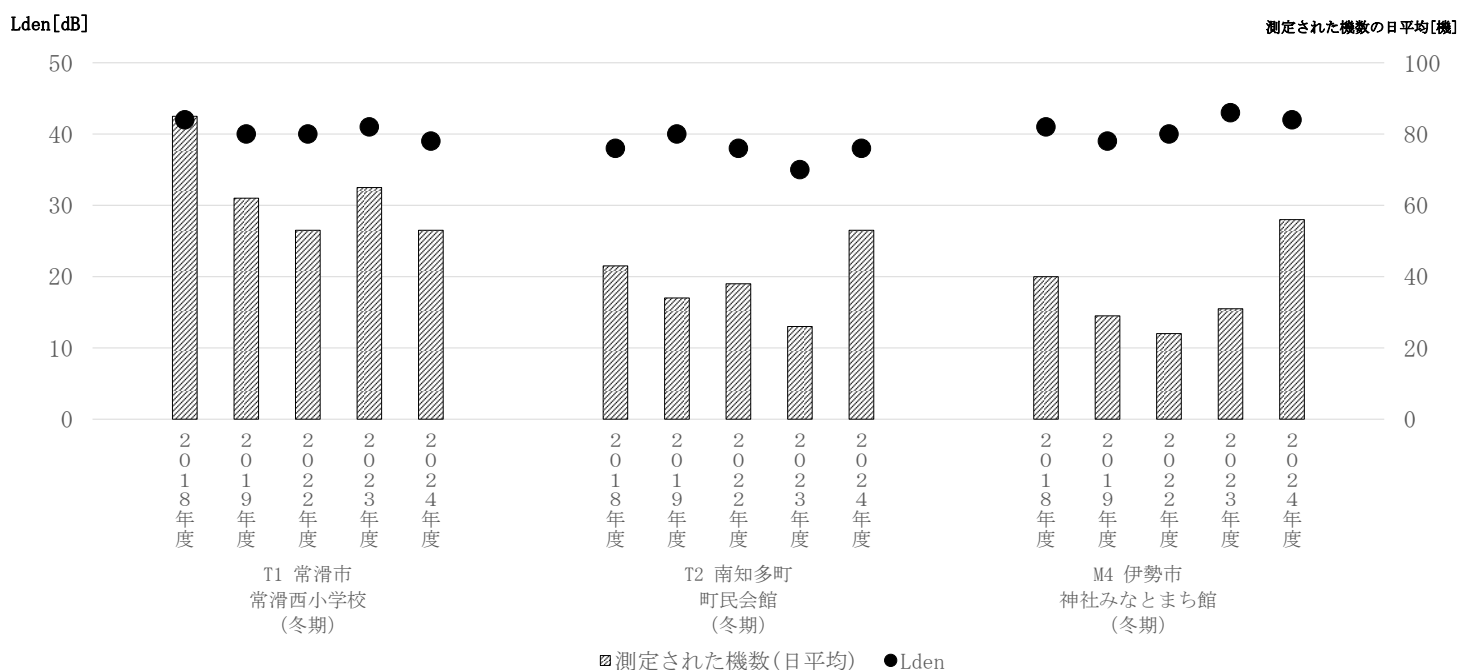


表 3-13(2) 5年間のLden、測定された機数の推移（定期監視：冬期）

調査地点				定期監視結果（冬期）の推移				
地区	番号	市町村名	施設名称	上段：Lden値（dB） 中段：測定された機数の日平均（機）（注1）				
				2018年度	2019年度	2022年度	2023年度	2024年度
愛知県 知多	T1	常滑市	常滑西小学校	42	40	40	41	39
				85	62	53	65	53
	T2	南知多町	町民会館体育館	38	40	38	35	38
				43	34	38	26	53
三重県	M4	伊勢市	神社みなとまち館	41	39	40	43	42
				40	29	24	31	56

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10 dB以上高くなった航空機の機数である。

図 3-5(2) 5年間のLden と測定された機数の推移（T1,T2,M4）



夏期は、各年度測定期間の風向により測定された機数に変動があることに加え、新型コロナウイルスで減少した便数が回復傾向にあり、2024年度は常滑を含む全7局でLden及び測定された機数の両方に前年度と同程度またはそれに近い水準となった。冬期は風向が一定しており、測定された機数、Ldenとも南知多を含む3局で2024年度も測定された機数とLden値に前年と比べて変化が見られた。

(4) 航空機騒音の評価(案)

2024年度の常時監視4局の年間のLdenは43dBであり、環境基準値(I類型:Lden 57dB以下)と比較した結果、全監視局で環境基準を満たしていた。また、過去5年間のLdenは地点により若干の変動はあるものの、概ね同程度に推移した。

2024年度の定期監視9地点の調査期間中のLdenは36dB~48dBの範囲にあり、環境基準値(I類型:Lden 57dB以下)と比較した結果、全調査地点で環境基準を満たしていた。また、2018年~2019年の2年間と2022年~2024年の3年間のLdenは地点により差はあるものの、全体としては同程度に推移した。

以上より、2024年度の常時監視及び定期監視の結果は環境基準を満たしており、5年間の推移でも大きな変化はみられなかった。

中部国際空港の航空機騒音に関する検討委員会

委員	三重大学大学院教授	寺島 貴根
	名城大学教授	岡田 恭明

参考資料 1

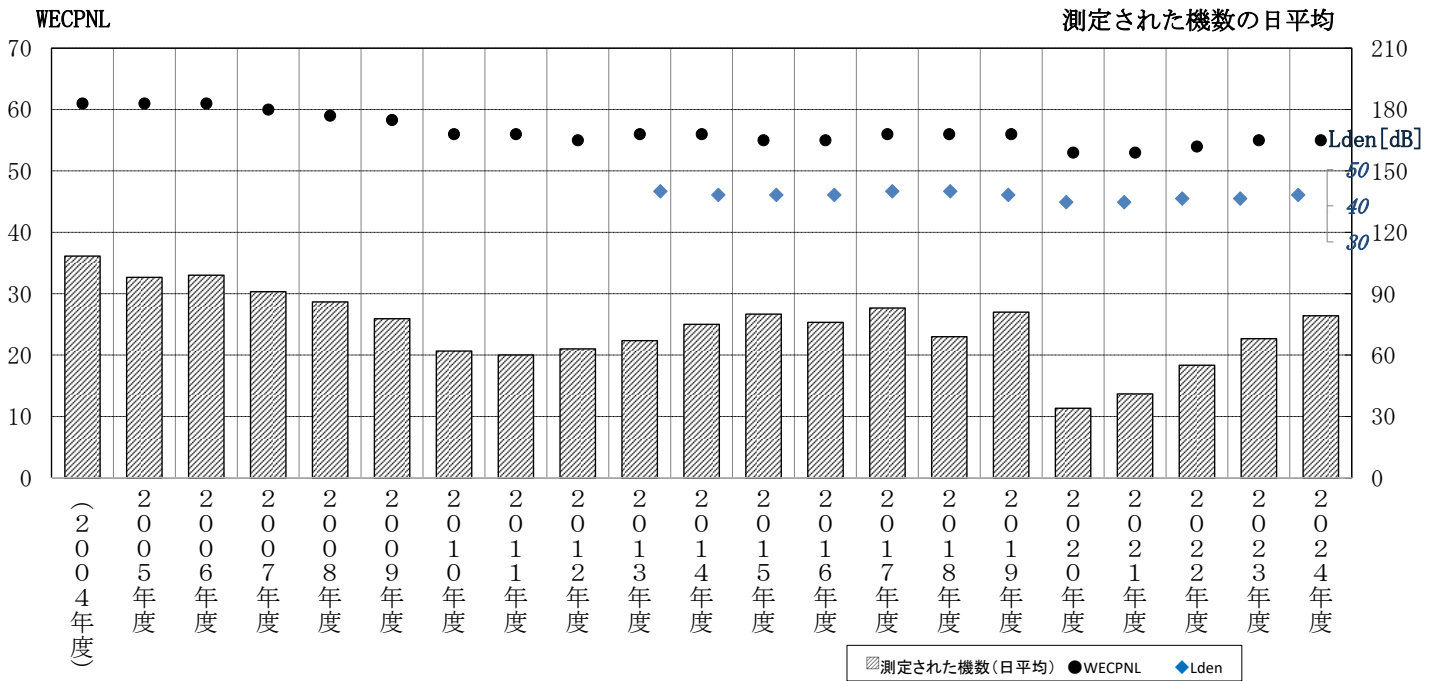
開港からの推移

常時監視結果

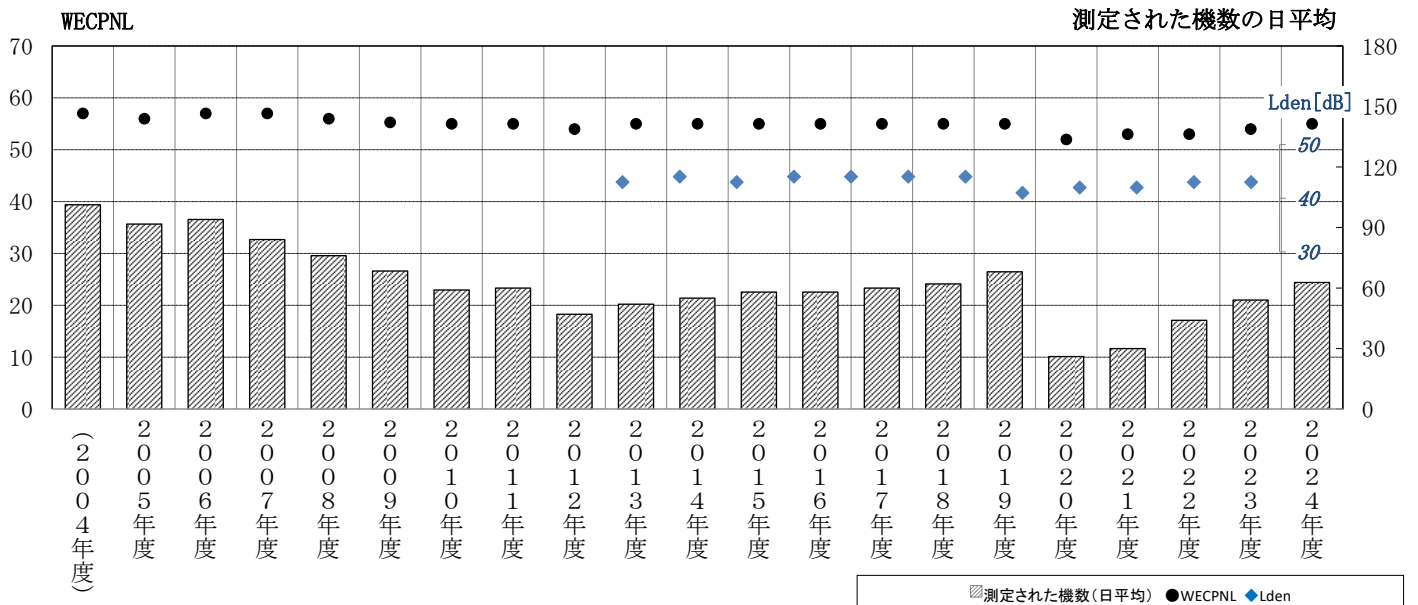
調査地点	Lden (dB) : 上段 測定された機数の日平均 (機) : 中段 (注1) WECPNL (単位なし) : 下段 (注2)																				
	2004年度 (注3)	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
①常滑市立 鬼崎中学校	/	/	/	/	/	/	/	/	/	44	43	43	43	44	44 (注6)	43 (注6)	41	41	42	42	43
	(108)	98	99	91	86	78	62	60	63	67	75	80	76	83	69 (注6)	81 (注6)	34	41	55	68	79
	(61)	61	61	60	59	58	56	56	55	(56)	(56)	(55)	(55)	(56)	(56) (注6)	(56) (注6)	(53)	(53)	(54)	(55)	(55)
②美浜町野間 (ちびっこ広場)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	43	44	43	44	44	44	44	41	42	42	43	43
	(101)	92	94	84	76	68	59	60	47	52	55	58	58	60	62	68	26	30	44	54	63
	(57)	56	57	57	56	55	55	55	54	(55)	(55)	(55)	(55)	(55)	(55)	(55)	(52)	(53)	(53)	(54)	(55)
③弥富市立 大藤小学校	/	/	/	/	/	/	/	/	/	44	45	45	45	45 (注5)	45	45	39	41	42	43	43
	(25)	54	54	51	44	39	41	40	43	41	43	45	46	43 (注5)	46	53	14	19	26	31	35
	(53)	57	58	57	56	56	56	56	56	(55)	(56)	(56)	(56)	(55) (注5)	(56)	(56)	(49)	(51)	(52)	(54)	(54)
④木曾岬町 東部公民館	/	/	/	/	/	/	/	/	/	45	46	46	45	45	45	45	39	41	42	43	43
	(6) (注4)	13 (注4)	10 (注4)	49	43	39	41	40	43	42	44	47	48	45	47	53	14	19	26	33	37
	(47) (注4)	49 (注4)	48 (注4)	58	57	57	56	56	56	(56)	(56)	(56)	(56)	(56)	(56)	(56)	(49)	(51)	(52)	(54)	(54)

注1: 「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数。
 注2: 開港からの推移を把握するために、2013年度から下段の () 内にWECPNLを参考値として記載。
 注3: 2004年度は、2005年2月17日～3月31日までの値で、() 内に参考値として記載。
 注4: 木曾岬町南部クリーンセンターでの測定値。
 注5: 2017年7月1日～9月30日までは、弥富市立大藤保育園での測定値。
 注6: 2018年8月9日～2019年5月29日までは、常滑市立鬼崎西保育園での測定値。

① 常滑市立鬼崎中学校

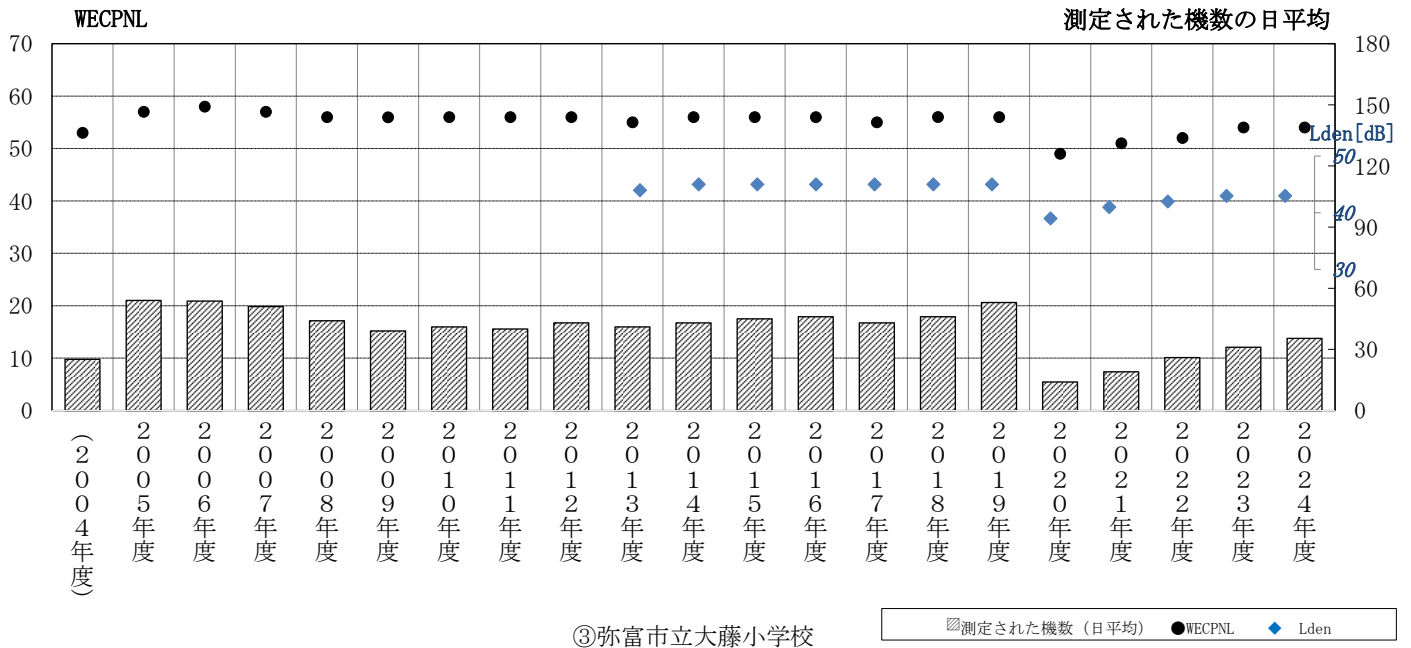


②美浜町野間 (ちびっこ広場)

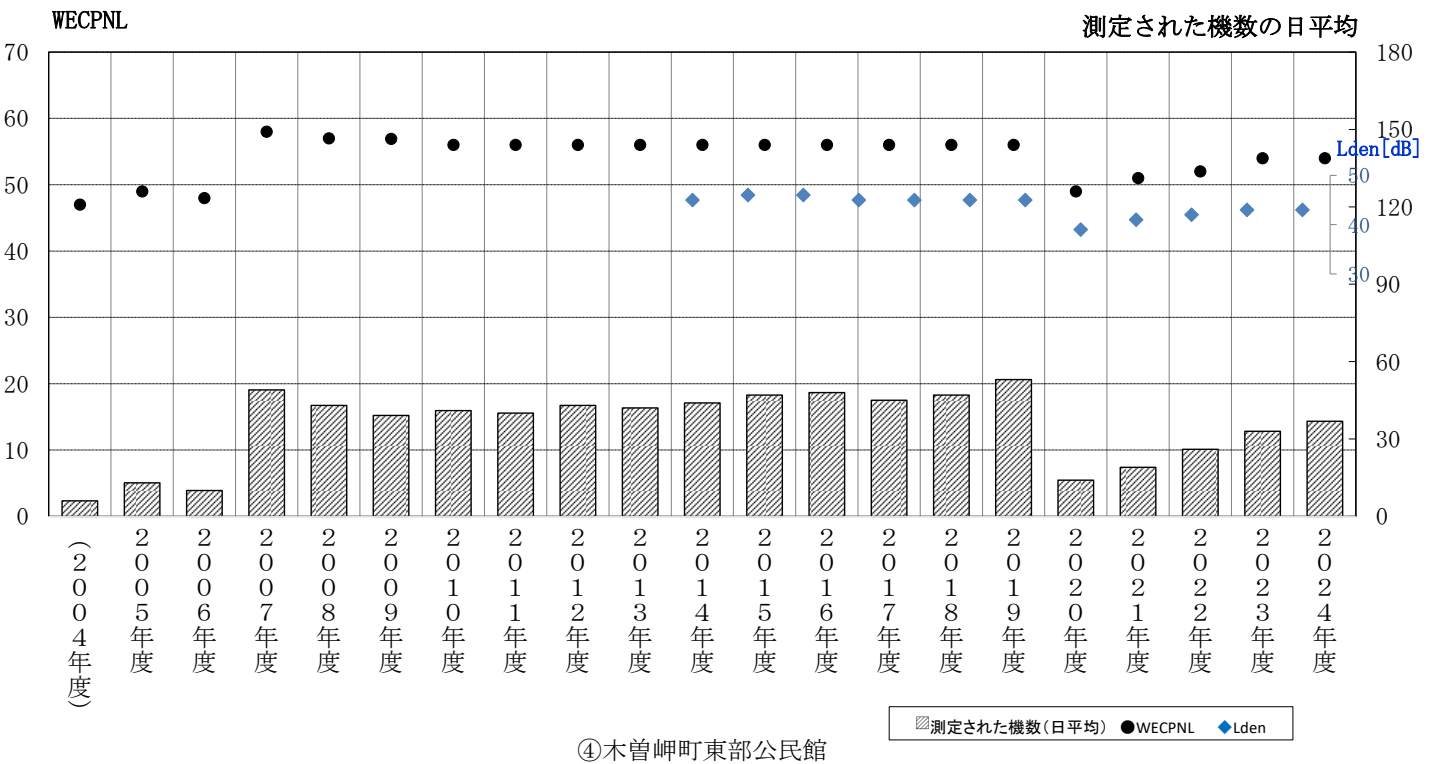


②美浜町野間 (ちびっこ広場)

③ 弥富市立大藤小学校



④ 木曾岬町東部公民館

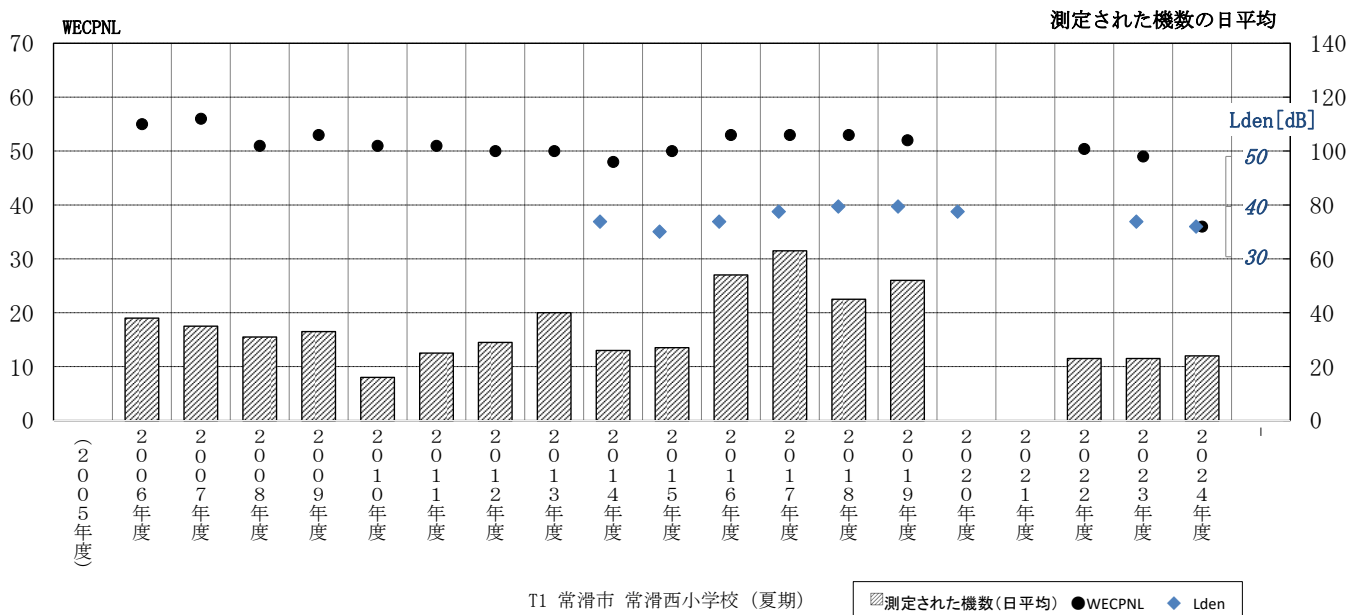


定期監視結果 夏期

調査地点				定期監視結果（夏期）の推移																					
地区	番号	市町村名	施設名称	上段：Lden値（dB） 中段：測定された機数の日平均（機）（注1） 下段：WECPNL値（注2）																					
				2005年度 (注3)	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 (注7)	2021年度 (注7)	2022年度	2023年度	2024年度		
愛知県	知多	T1	常滑市	常滑西小学校	/	/	/	/	/	/	/	/	37	35	37	39	40	40	39	-	-	37	36	36	
					-	38	35	31	33	16	25	29	40	26	27	54	63	45	52	-	-	23	23	24	
		海部	A1	愛西市	愛西市役所	/	/	/	/	/	/	/	/	41 (注5)	42 (注5)	40 (注5)	38	39	36	41	-	-	31	37	39
						-	15	19	21	9	12	9	32	24 (注5)	33 (注5)	22 (注5)	29	30	21	46	-	-	11	22	39
			A2	弥富市	十四山西部小学校	/	/	/	/	/	/	/	/	45	45	45	43	44	42	45	-	-	40	41	45
						-	54	64	62	52	52	58	73	64	84	66	64	58	56	83	-	-	25	31	75
	A3		弥富市	鍋田公民館	/	/	/	/	/	/	/	/	48	49	48	46	47	45	48	-	-	44	46	48	
					-	86	81	78	66	63	72	80	70	96	67	62	63	58	94	-	-	39	52	81	
	三重県	M1	桑名市	大山田地区市民センター	/	/	/	/	/	/	/	/	37	39	38	35 (注6)	38 (注6)	38 (注6)	37 (注6)	-	-	33 (注6)	35	40	
					-	7	6	8	10	13	18	21	16	24	17	12 (注6)	19 (注6)	16 (注6)	20 (注6)	-	-	9 (注6)	11	24	
			M2	木曾岬町	農村集落多目的 共同利用施設	/	/	/	/	/	/	/	/	43	46	43	41	43	40	43	-	-	39	40	43
						-	8 (注4)	60	70	44	55	67	74	58	86	58	57	61	44	83	-	-	33	42	72
M3			四日市市	海蔵地区市民センター	/	/	/	/	/	/	/	/	34	39	36	37	38	37	39	-	-	31	36	37	
					-	1	0	1	1	1	0	15	9	22	10	15	20	16	17	-	-	7	10	17	

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数。
 注2：開港からの推移を把握するために、2013年度から下段の（）内にWECPNLを参考値として記載。
 注3：2005年度は、定期監視調査を2006年2月に1回目の調査を実施したため、調査結果なし。
 注4：東部公民館での測定値。
 注5：市江コミュニティセンターでの測定値。
 注6：陵成中学校での測定値。

T1 常滑市常滑西小学校



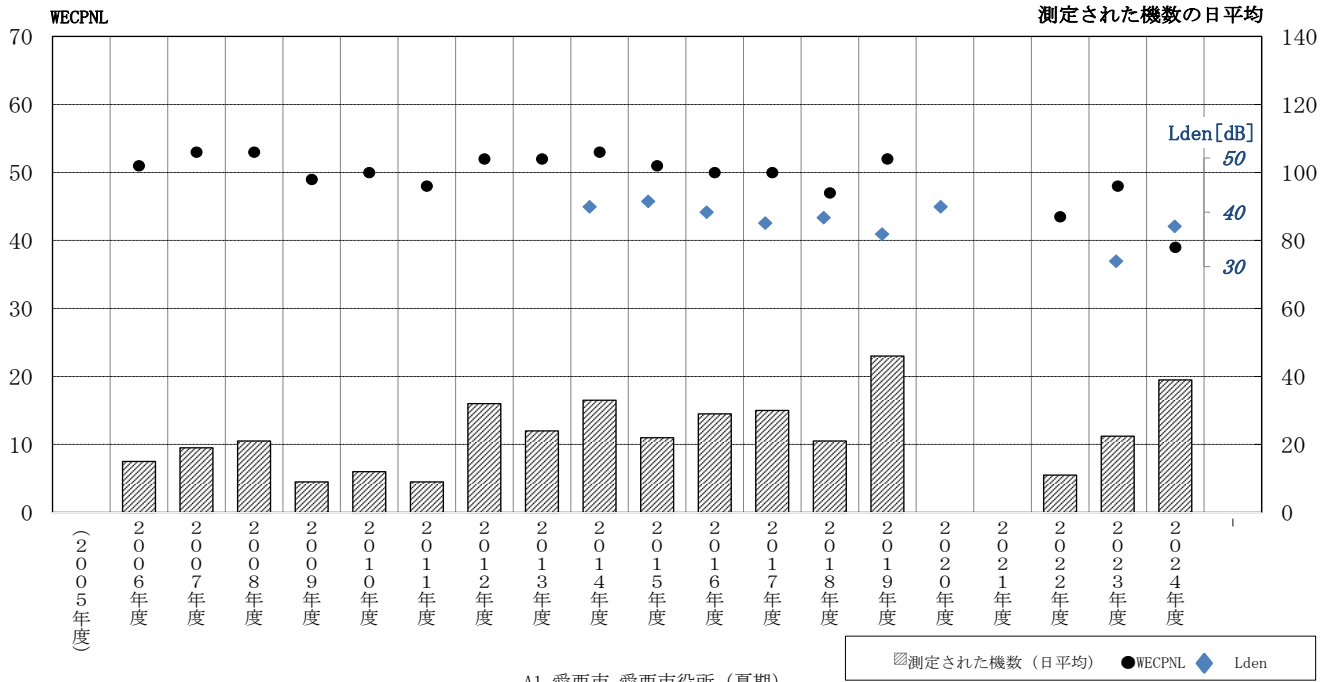
T1 常滑市 常滑西小学校 (夏期)

測定された機数(日平均)

 WECPNL

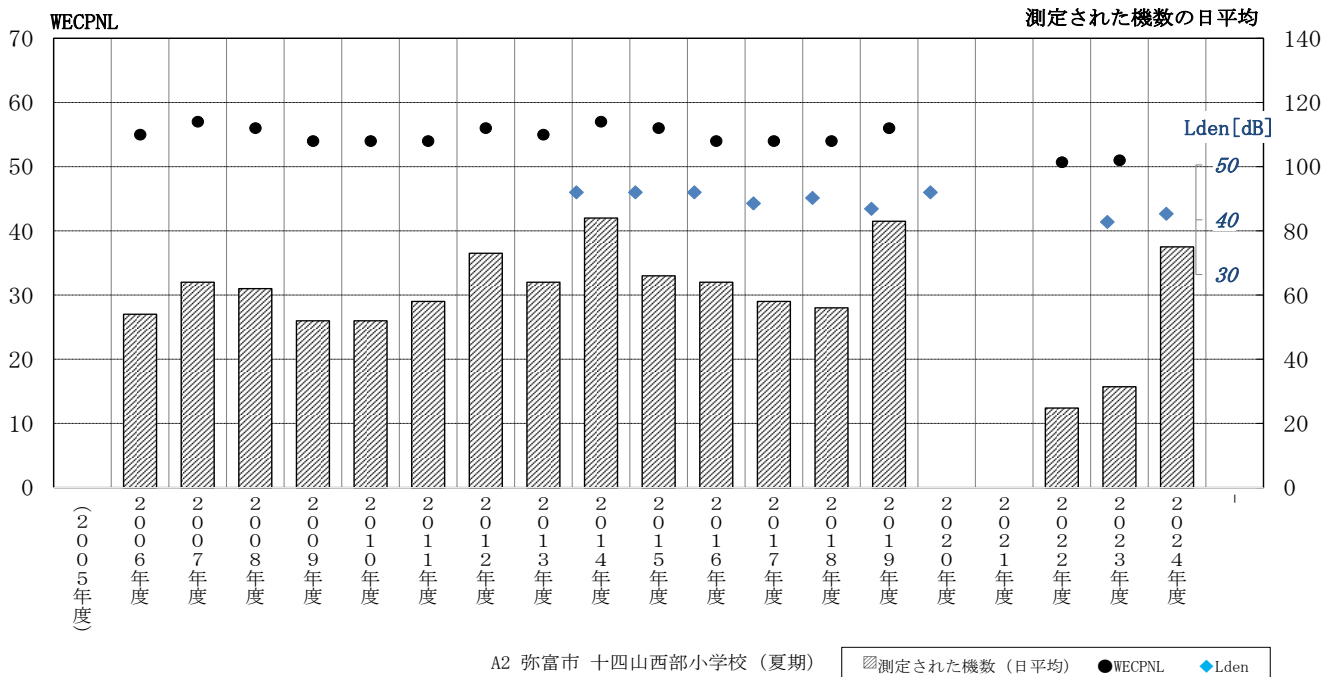
 Lden

A 1 愛西市役所



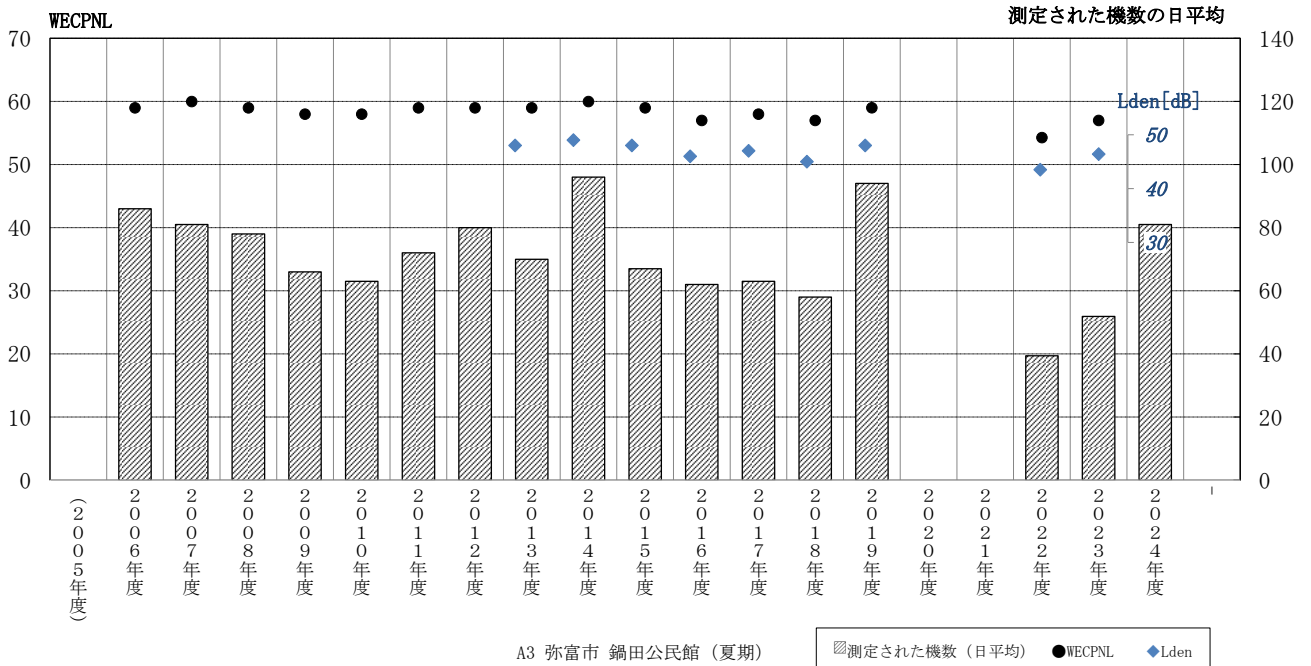
A1 愛西市 愛西市役所 (夏期)

A 2 弥富市十四山西部小学校

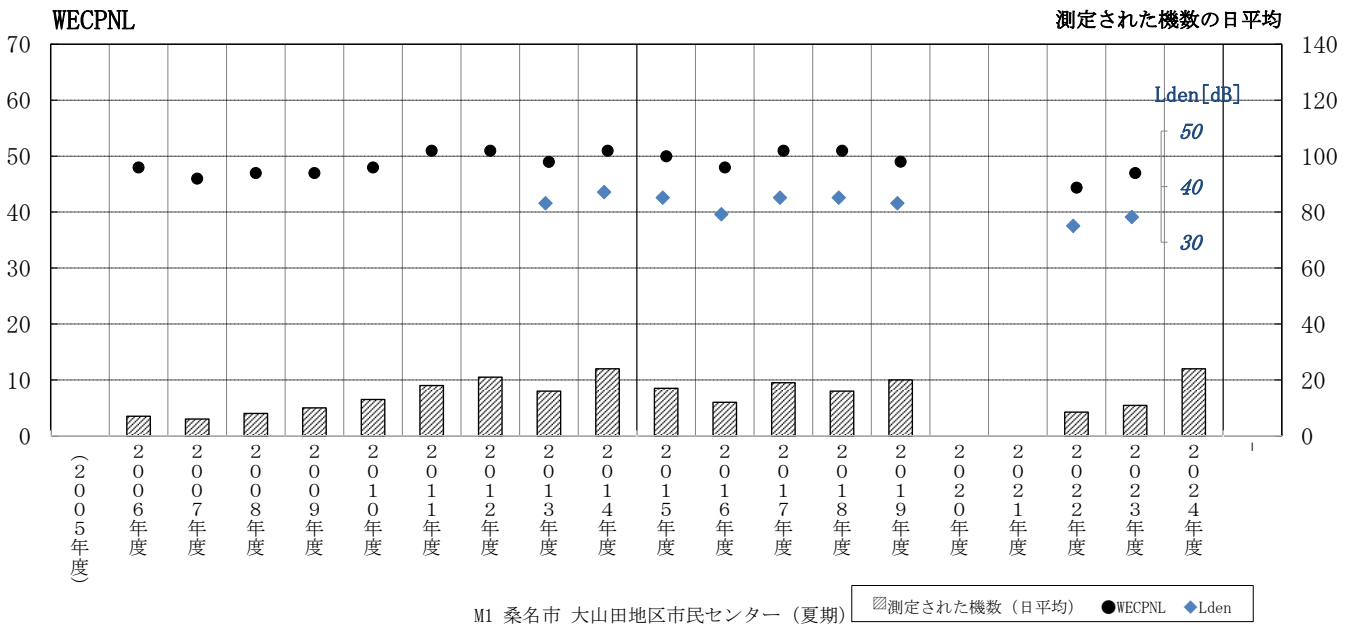


A2 弥富市 十四山西部小学校 (夏期)

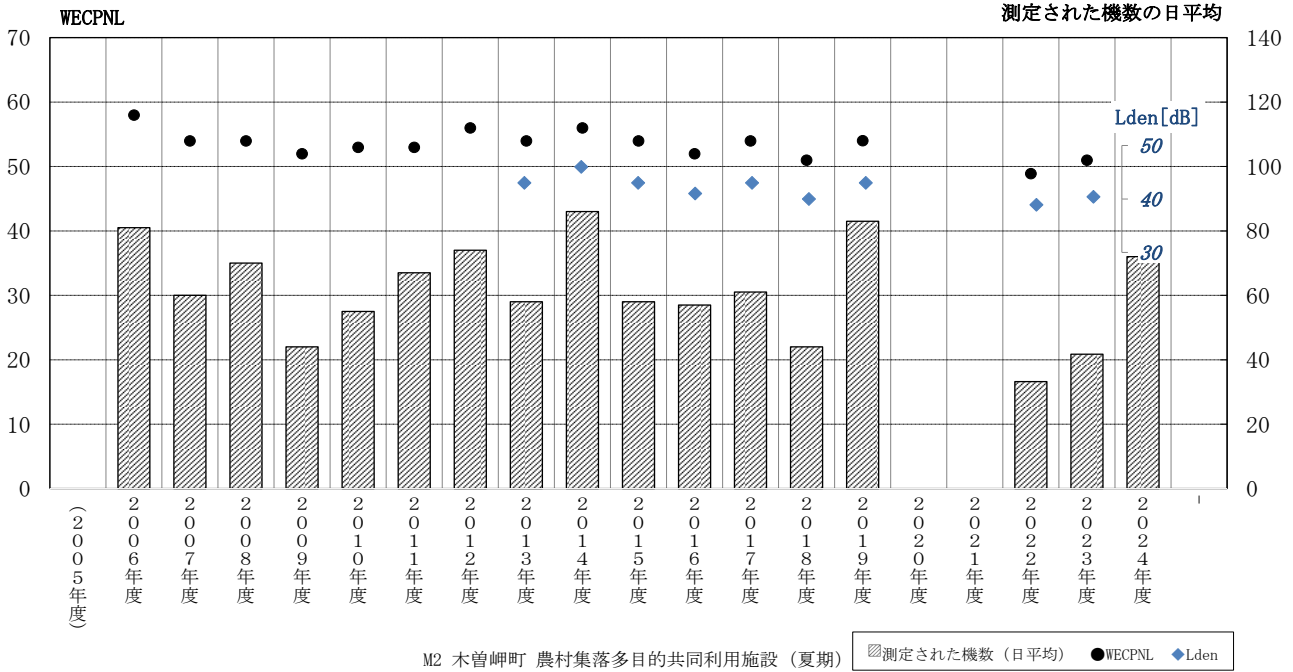
A 3 弥富市鍋田公民館



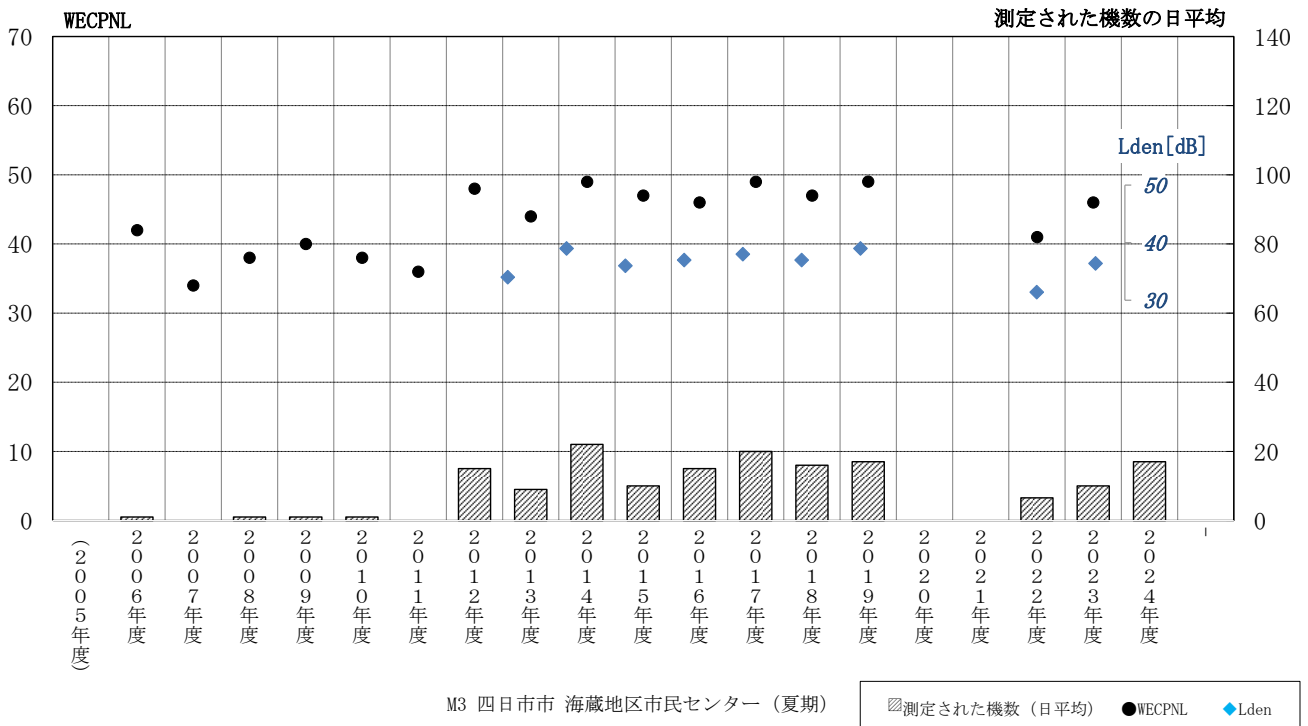
M 1 桑名市大山田地区市民センター



M2 木曾岬町多目的共同利用施設



M3 四日市市海蔵地区市民センター

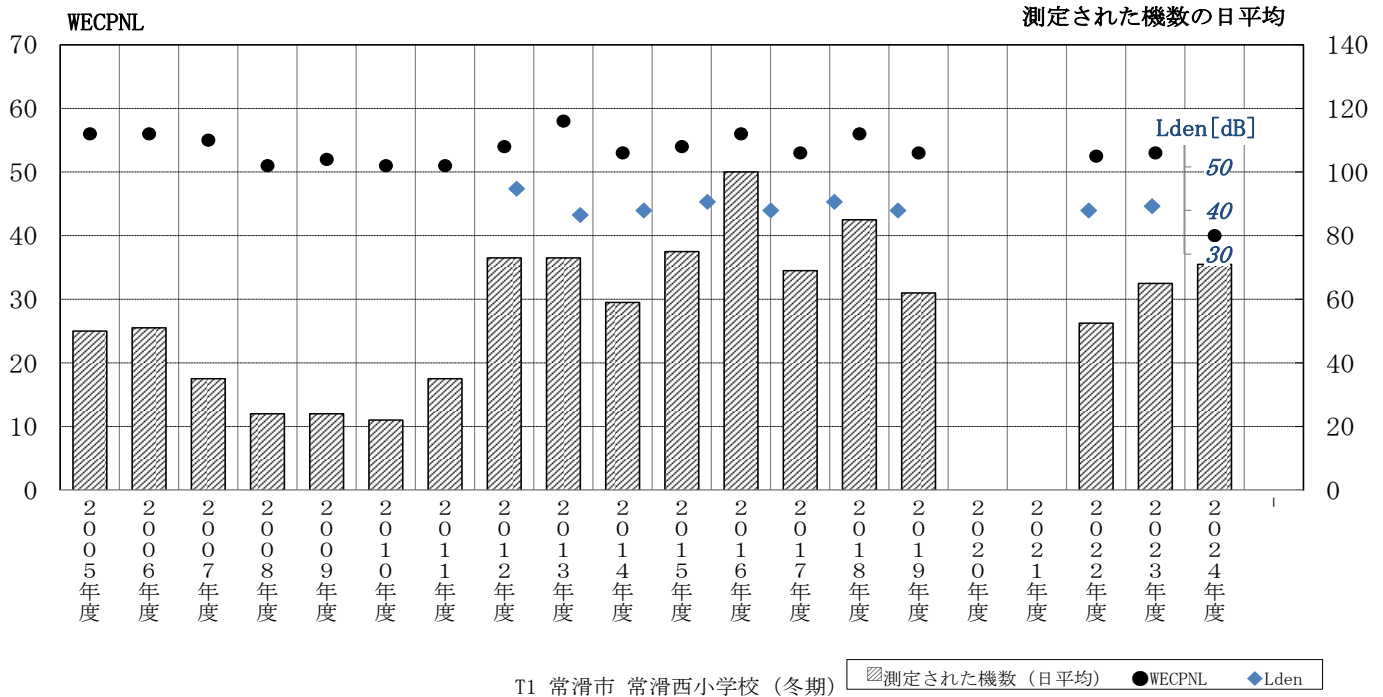


冬期

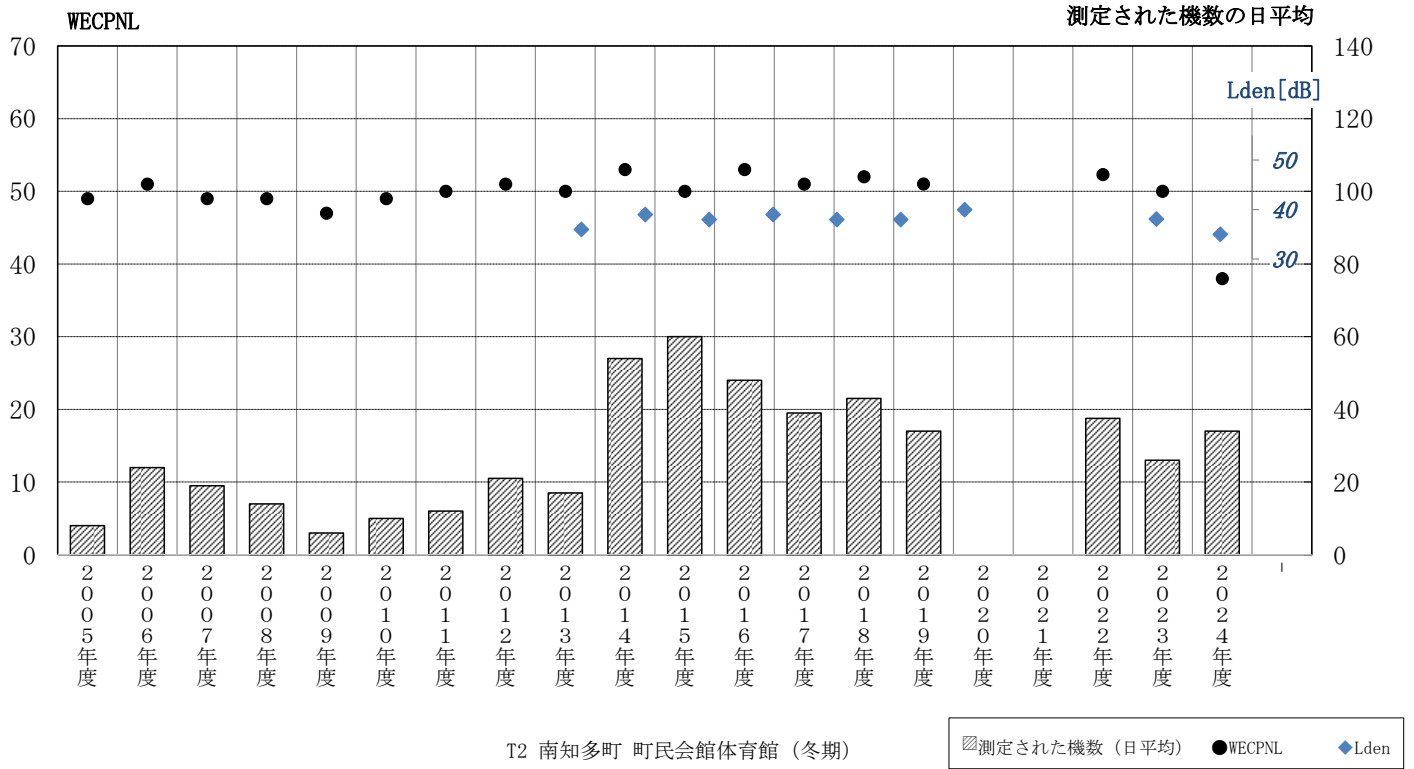
調査地点				定期監視結果（冬期）の推移																			
地区	番号	市町村名	施設名称	上段：Lden値（dB） 中段：測定された機数の日平均（機）（注1） 下段：WECPNL値（注2）																			
				2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度(注3)	2021年度(注3)	2022年度	2023年度	2024年度
愛知県	T1	常滑市	常滑西小学校	/	/	/	/	/	/	/	/	45	39	40	42	40	42	40	-	-	40	41	39
				50	51	35	24	24	22	35	73	73	59	75	100	69	85	62	-	-	53	65	71
				56	56	55	51	52	51	51	54	(58)	(53)	(54)	(56)	(53)	(56)	(53)	-	-	(53)	53	53
	T2	南知多町	町民会館体育館	/	/	/	/	/	/	/	/	36	39	38	39	38	38	40	-	-	38	35	38
				8	24	19	14	6	10	12	21	17	54	60	48	39	43	34	-	-	38	26	34
				49	51	49	49	47	49	50	51	(50)	(53)	(50)	(53)	(51)	(52)	(51)	-	-	(52)	50	53
三重県	M4	伊勢市	神社みなとまち館	/	/	/	/	/	/	/	/	39	40	40	40	40	41	39	-	-	40	43	42
				11	21	16	11	12	13	23	26	25	26	36	27	32	40	29	-	-	24	31	47
				50	52	49	46	48	49	51	52	(52)	(54)	(53)	(53)	(53)	(55)	(53)	-	-	(53)	58	56

注1：「測定された機数」とは、航空機騒音が暗騒音より10dB以上高くなった航空機の機数。
 注2：開港からの推移を把握するために、2013年度から下段の（）内にWECPNLを参考値と記載。
 注3：2020年度と2021年度は新型コロナウイルスの影響で運航便数が減少したため定期調査は中止した。

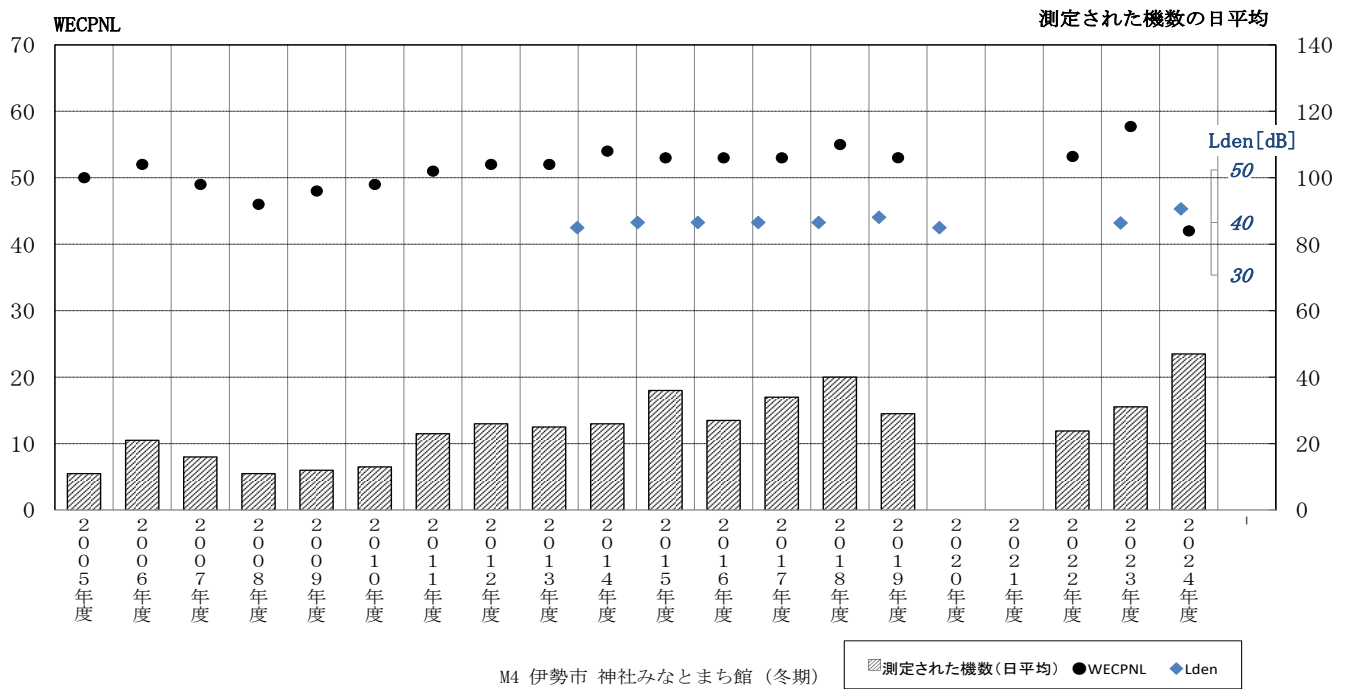
T1 常滑市常滑西小学校



T 2 南知多町町民会館



M4 伊勢市神社みなとまち館



参考資料 2

航空機騒音に係る相談件数

① 航空機騒音相談件数の状況

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
愛知県	79	490	448	409	245	297	206	233	263	280	265	250	190	150	105	98	110	72	58	45	46
うち名古屋市	4	29	13	15	13	25	13	18	2	27	9	6	3	0	0	2	3	2	3	12	1
岐阜県	0	1	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	1	2	3	1	0	2	0	1
三重県	27	162	93	59	47	31	24	31	27	26	72	88	98	122	153	97	19	7	8	29	26
その他	0	5	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	4	3	1
計	106	658	545	471	295	329	230	264	294	306	337	338	288	273	261	199	131	81	72	77	74
累積	106	764	1,309	1,780	2,075	2,404	2,634	2,898	3,192	3,498	3,835	4,173	4,461	4,734	4,995	5,194	5,325	5,406	5,478	5,485	5,559

② 2024年度 相談内容別件数

区 分	主な相談内容等
飛行経路・高度へのお叱り 58件	<ul style="list-style-type: none"> ○いついつに飛んだ飛行機の高度・行き先を知りたい ○陸域を低空で飛ばさいでほしい（海域を飛ばすように。） ○我が家の上空を飛行するな。（低くて脅威だ。） ○飛行経路を知りたい。（飛び方・便数など詳しい内容を知りたい。） ○開港時に比べて飛行経路が守られていないのではないか。（最近、高度が低い）
航空機騒音に対するお叱り 12件	<ul style="list-style-type: none"> ○深夜・早朝の飛行機の音がうるさい。（特に深夜の騒音で眠れない） ○飛行機の音がうるさい。（最近、また気になるようになった。） ○最近、飛行機の通過が増えて、飛行機の音がうるさい。 ○ヘリコプターの音がうるさい。 ○着陸機の到着時の騒音がうるさい。
その他 4件	<ul style="list-style-type: none"> ○その他航空機騒音以外の問い合わせ

参考資料 3

中部国際空港に係る環境監視計画

中部国際空港に係る

環 境 監 視 計 画

2016年4月改定

中部国際空港株式会社

目 次

第1章 環境監視についての基本的な考え方	1
1.1 環境監視の目的	1
1.2 環境監視計画の内容等	1
1.3 環境監視の実施	1
1.4 環境監視結果の評価	1
1.5 対策	1
1.6 環境監視結果の公開等	2
第2章 環境影響要因	4
2.1 環境影響要因	4
2.2 場所及び規模	4
2.3 航空機の運航	4
2.4 空港施設概要	4
第3章 環境監視計画	8
3.1 調査	8
3.2 環境監視情報処理システム	12

第1章 環境監視についての基本的な考え方

本計画は、2005年2月17日からの中部国際空港の供用に伴う周辺地域に対する環境影響を把握するため、事業者の責任において自主的に環境監視を実施する内容を定めたものである。

1. 1 環境監視の目的

- (1) 中部国際空港の供用に伴う環境に及ぼす影響を把握し、必要に応じて適切な措置を講じることにより環境の保全を図る。
- (2) 環境監視の結果を広く一般に公開し、事業に対する理解の促進に努める。

1. 2 環境監視計画の内容等

調査項目、調査地点、調査頻度などの環境監視計画の具体的な内容は、事業計画、環境影響評価書の内容及び環境監視結果を踏まえ設定する。

なお、環境監視計画については、必要に応じて見直しを行う。これに当たっては、専門分野の学識経験者及び関係自治体の意見を聴き、事業者が計画内容を定める。

1. 3 環境監視の実施

環境監視については、環境監視計画に基づいて適切に実施する。

環境監視に当たっては、日常的にデータの検討を行うとともに、迅速な環境保全の措置を講じることができる体制の整備を図る。

1. 4 環境監視結果の評価

環境監視結果については、専門分野の学識経験者の公正・中立な評価を受ける。

評価に当たっては、周辺地域に与える影響の程度を環境監視結果を基に行政機関等の一般環境データを参考として、環境基準や周辺地域の経年的な環境変化の傾向等と対比するなど、科学的・客観的に行う。

1. 5 対策

環境監視結果等から何らかの異常があると認められる場合については、関係機関と連携して原因を究明するとともに、事業による環境への影響が認められる場合には、適切な対応を行う。

1. 6 環境監視結果の公開等

環境監視結果については、情報コーナーやインターネット等を用いて環境監視データの速報及び環境監視の評価結果を一般公開する。

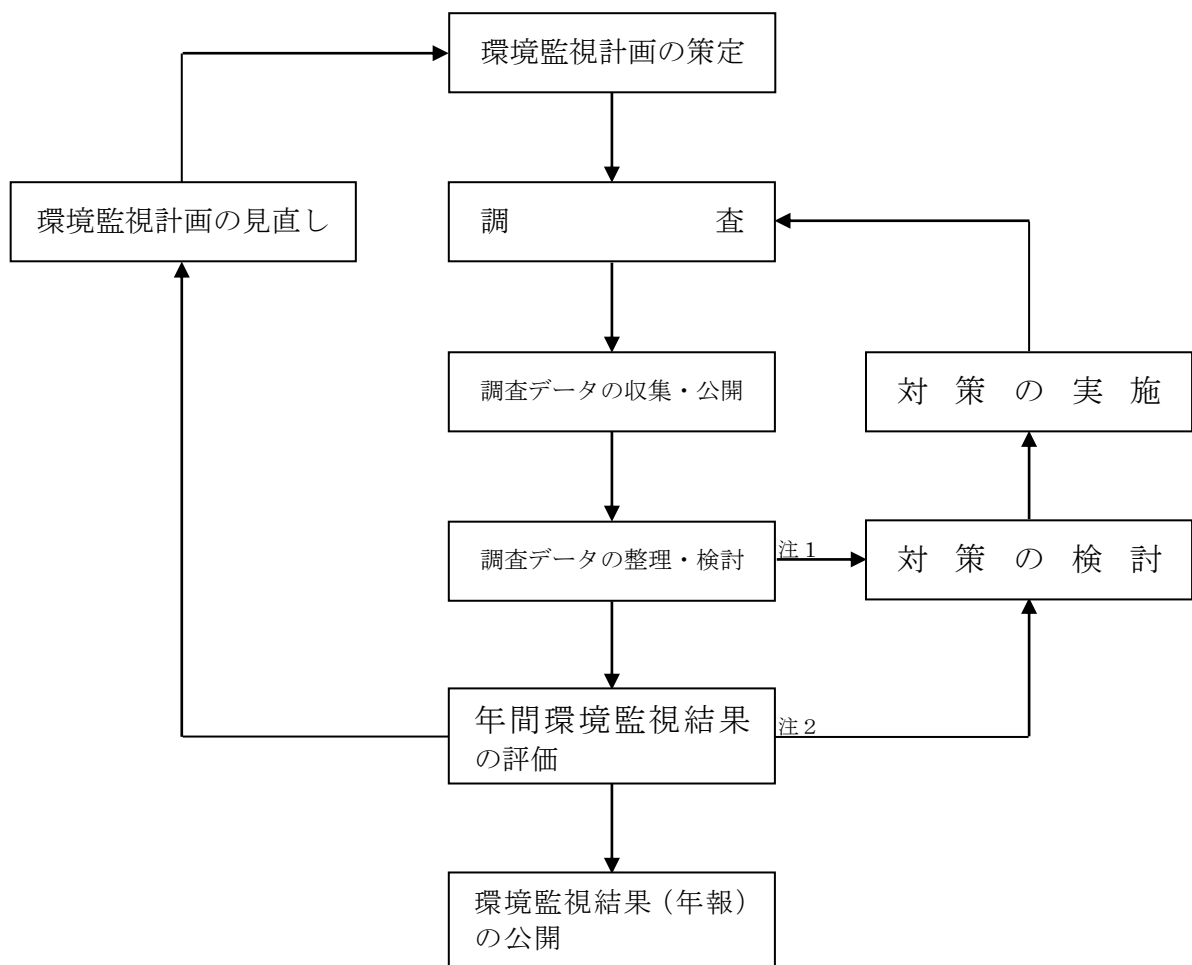
環境監視結果の公開方法は、次のとおりとし、月報、年報については、岐阜・愛知・三重県、名古屋市、関係市町村等に報告する。

<環境監視結果の公開方法>

- ・ セントレア情報コーナーでのパソコン上でデータの公開
- ・ セントレア情報コーナー等での月報及び年報の公開
- ・ インターネットによるデータの公開

また、環境に関する理解や関心を深めていただくため、環境監視に係る調査項目や調査地点などをまとめたリーフレット等を作成する。

※情報コーナーは休館中。



注1：日々の調査データを整理・検討した結果から、事業による環境への影響が認められる場合には、適切な対策を講じる。

注2：調査データについて、年間を通して評価された結果から、事業による環境への影響が認められる場合には、適切な対策を講じる。

図1 環境監視の概念図

第 2 章 環境影響要因

2. 1 環境影響要因

空港の供用に係る環境影響要因として、中部国際空港の運用に伴う航空機の運航等がある。

2. 2 場所及び規模

(1) 場所 (図 2-1 参照)

愛知県常滑市セントレアの一部 (空港用地)

(2) 規模

470ha

2. 3 航空機の運航

(1) 飛行経路 (図 2-2、2-3 参照)

(2) 滑走路 1本、3500m

(3) 飛行機材 B737、B767、B787、B777、B747、A320、A330、A340、DH8、CRJ等

(4) 離着陸回数 約9.2万回/年 (2014年度実績)

2. 4 空港施設概要

離着陸施設 (滑走路、誘導路、航空保安施設等)

エプロン

航空旅客取扱施設 (国内・国際旅客ターミナルビル、機内食工場等)

航空貨物取扱施設 (国内・国際貨物取扱施設)

管理施設 (庁舎、管制塔、空港管理棟等)

供給処理施設 (航空機給油施設、エネルギー供給施設等)

その他施設 (道路等)

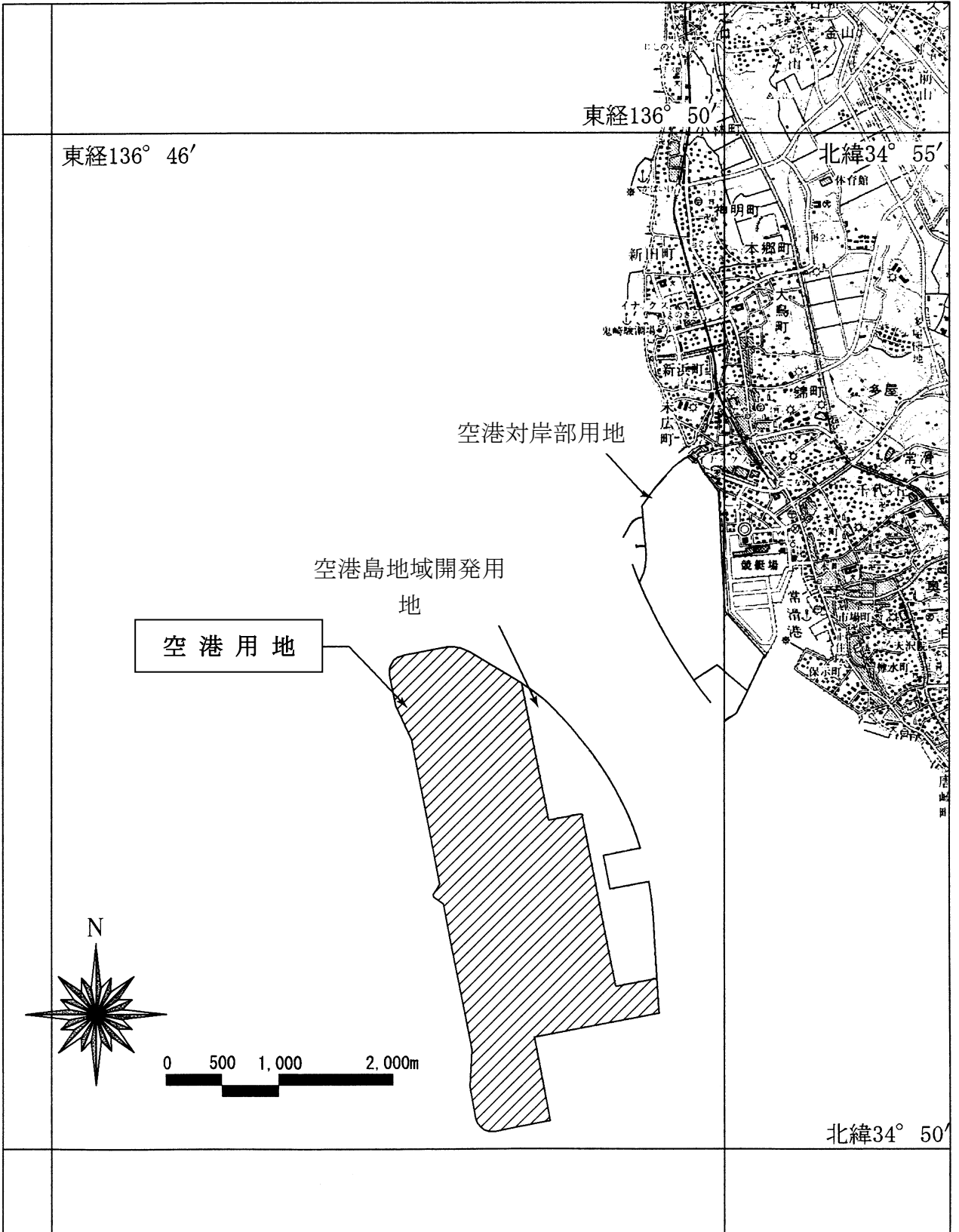
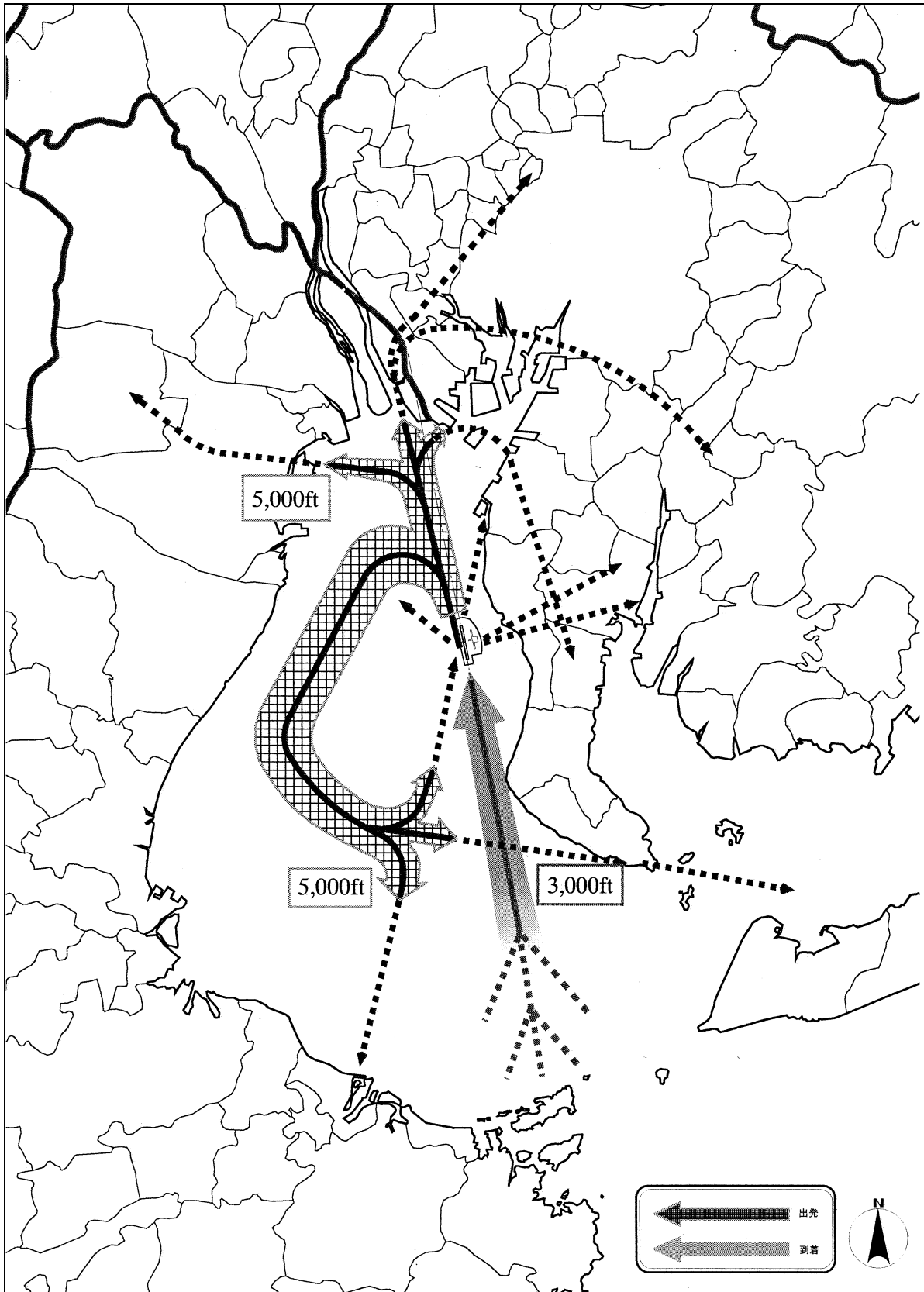
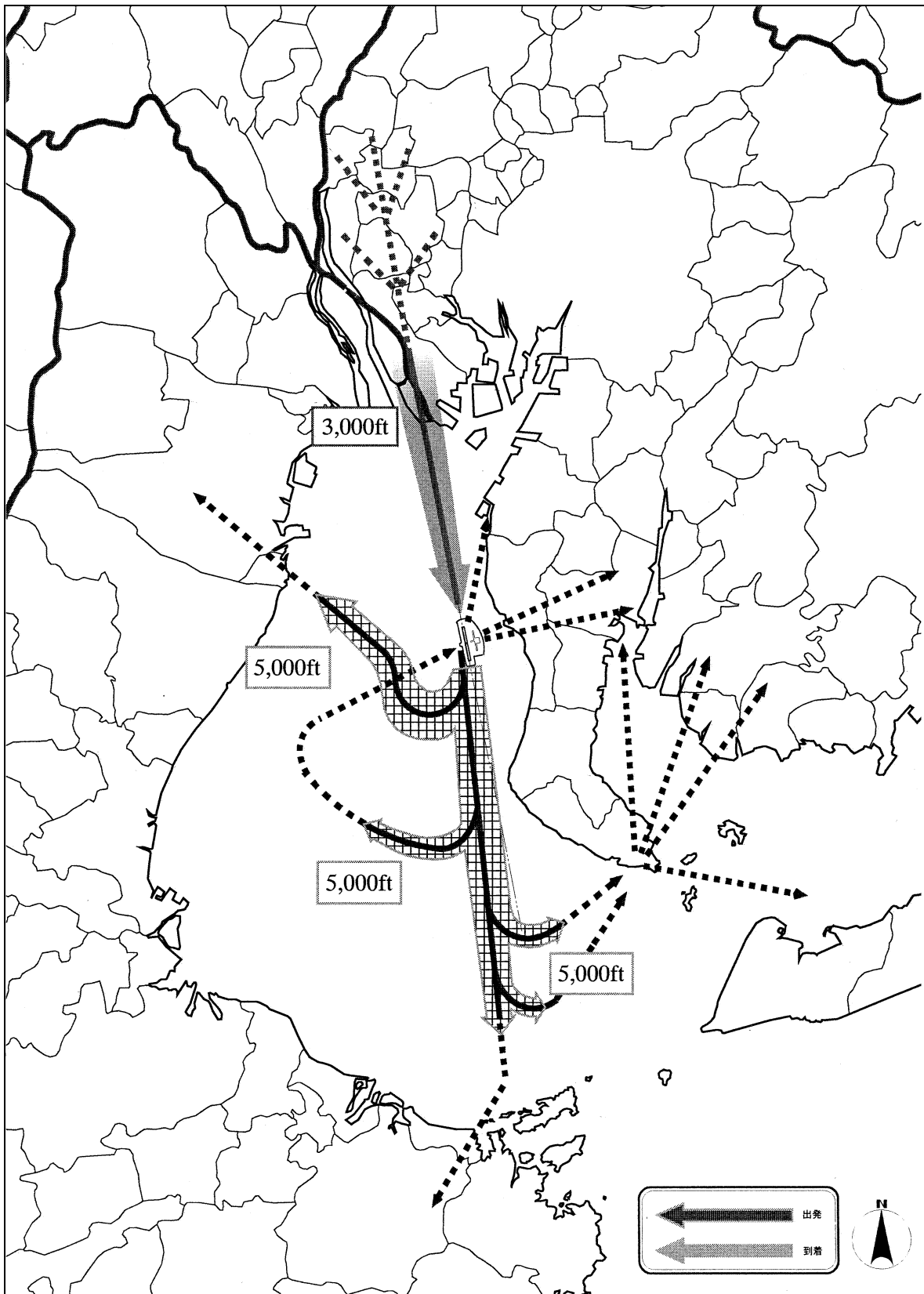


図 2 - 1 場所及び形状



* 出発5000フィート以下・到着3000フィート以下で飛行すると予想される区域

図2-2 飛行経路（北向き運用：6～23時）



* 出発5000フィート以下・到着3000フィート以下で飛行すると予想される区域

図2-3 飛行経路（南向き運用：6～23時）

第3章 環境監視計画

3. 1 調査

(1) 調査の考え方

空港の供用が環境に及ぼす影響を適切に把握するため、以下の考え方に基づき調査を実施する。

なお、必要に応じて原因を究明するための調査や周辺環境の基礎情報を収集するための調査を実施する。

ア 調査項目

空港の供用に伴う環境影響、環境影響予測項目、環境監視結果を踏まえ、「騒音」を設定する。

イ 調査地点

地域の環境特性を考慮して、空港の供用による周辺環境への影響の程度が的確に把握できるよう配慮し設定する。

ウ 調査期間

周辺環境への影響の程度を考慮して設定する。

エ 調査頻度・時期

環境質の特性、空港の供用に伴う環境負荷の発生状況に応じ、環境の的確な把握が行えるように設定する。

オ 調査方法

各種法令やJIS等の規定に準拠する。

(2) 調査の内容

調査の内容は次のとおりである。

調査項目			調査地点	調査頻度・時期	調査方法
騒音	航空機騒音	常時監視	図3-1 (4地点)	常時	表3
		定期監視 注	図3-1 (9地点)	夏期7箇所 (T1, A1, A2, A3, M1, M2, M3) 冬期3箇所 (T1, T2, M4)	表3

注 定期監視については、今後の調査結果を踏まえ、見直しを行う。

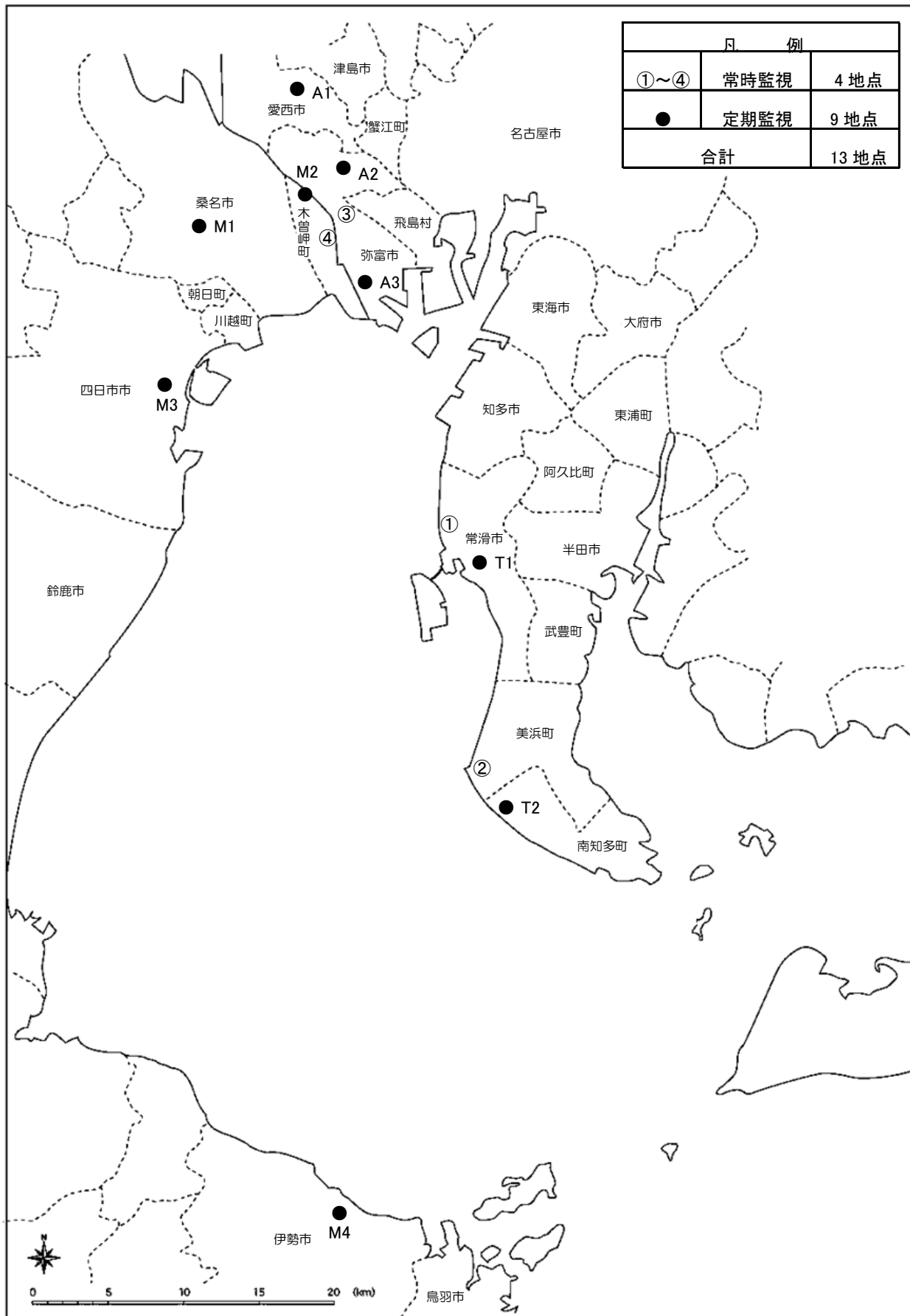


図 3 - 1 航空機騒音の調査地点

<航空機騒音調査地点一覧表>

1 常時監視地点

地 点	場 所
①	常滑市立鬼崎中学校
②	美浜町野間(ちびっこ広場)
③	弥富市立大藤小学校
④	木曾岬町東部公民館

2 定期監視地点

(1) 愛知県知多地区

地 点	場 所	調査時期
T1	常滑市立常滑西小学校	夏期、冬期
T2	南知多町町民会館	冬期

(2) 愛知県海部地区

地 点	場 所	調査時期
A1	愛西市役所	夏期
A2	弥富市立十四山西部小学校	夏期
A3	弥富市鍋田公民館	夏期

(3) 三重県

地 点	場 所	調査時期
M1	桑名市大山田地区市民センター	夏期
M2	木曾岬町農村集落多目的共同利用施設	夏期
M3	四日市市海蔵地区市民センター	夏期
M4	伊勢市神社みなとまち館	冬期

表3 航空機騒音

項 目	調 査 方 法
航空機騒音	「航空機騒音に係る環境基準について」(昭和48年環境庁告示第154号、改正平成19年環境省告示第114号)及び「航空機騒音測定・評価マニュアル」(平成24年11月環境省)に定める方法

3. 2 環境監視情報処理システム

各種調査データの収集・処理を迅速かつ効率的に取り扱うため、テレメータシステム及びコンピュータを用いたデータ処理システムによってデータの収集・処理、管理を行う。

環境監視情報処理システム機能概要図は、図3-2のとおりである。

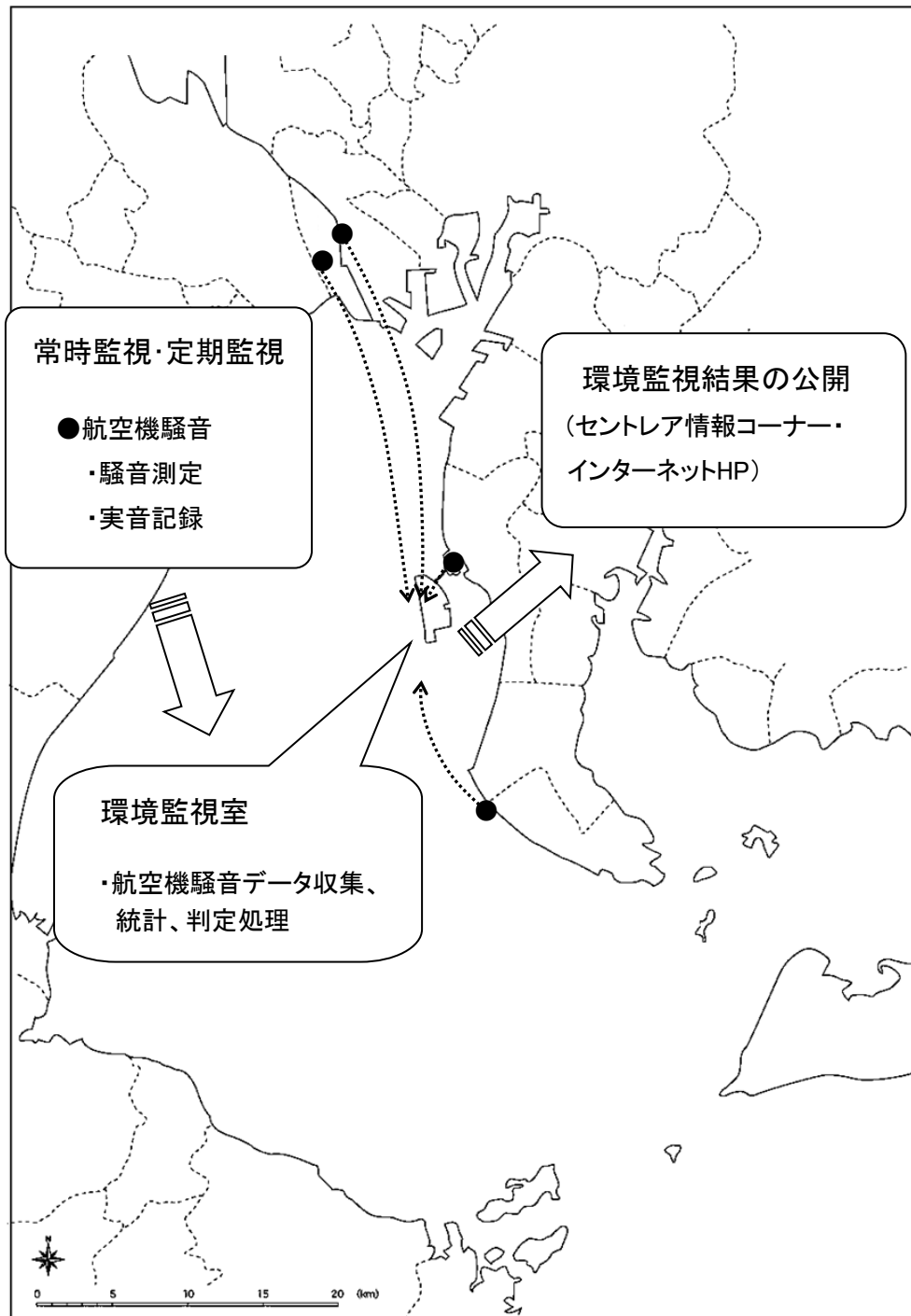


図3-2 環境監視情報処理システム機能概要図